

P M P - II

設計積算資料

令和3年度

沈 設 立 坑 協 会

協会員

--

【事務局】 秩父コンクリート工業株式会社内
〒110-0005 東京都台東区上野7-7-6
TEL 03-3844-5063 FAX 03-3844-5089

【お問合せ】秩父コンクリート工業株式会社 関東営業所内
〒366-0812 埼玉県深谷市折之口1340
TEL 048-501-7803 FAX 048-501-7815
【<http://www.chinsetsu.jp/>】

【設計積算資料】

目 次

I.	施 工 に 関 す る 基 本 事 項	1
II.	適 用 土 質 の 目 安	1
III.	製 品 ・ 付 属 品 ・ 仮 設 材 の 種 類	2
IV.	標 準 組 合 せ 表	8
V.	施 工 概 要	10
VI.	施 工 手 順	11
VII.	使 用 機 材	14
VIII.	設 計 積 算 資 料	15
IX.	歩 掛 り 及 び 数 量 表	32
X.	運 転 単 価 表	34
XI.	機 械 器 具 損 料 表	36

I. 施工に関する基本事項

- 1). 沈設立坑工法は下水道管渠築造等に用いられる立坑兼用マンホールに適用する。
また、厳しい施工条件下での立坑築造を可能にし、推進工法用立坑と組立マンホールの機能を持つプレキャスト製品の施工についてマニュアルを定めた。
- 2). 沈設立坑工法は、発進・到達・通過立坑、マンホールポンプに適用できる。
- 3). 製品の種類には、内径2500mm・2200mm・2000mm・1800mm・1500mm・1200mm・900mmがある。
- 4). 施工方式は円形オープンケーソン工法であり、路面から1500mm程度までは過剰な地下占用を避けるため、組立マンホールを使用する。
- 5). 使用機材が少なく、省スペースでの施工が可能であり、作業終了後には速やかに道路開放できる。
- 6). 本体ブロックの仕様は、標準コンクリート・防菌コンクリートがある。
※レジンコンクリート製・矩形コンクリート製は別途積算資料参照
- 7). 現場環境に応じて、内径2000～1200mmは円形覆工板に変更できる。
- 8). 沈設ステージは現場環境、埋設物の状況に応じてガイドコンクリート仕様（ライナープレート）に変更できる。

II. 適用土質の目安

- 1). 標準的な施工条件
標準立坑深さ12m、補助工法なし
注）標準外の立坑深さ及び適用外土質については別途検討する。
- 2). 土質は、粘性土・砂質土・礫質土（礫径200mm以下）に適用する。
適用する土質区分は下表に示す。それ以外の土質については別途検討する。

適用土質区分

土 質 名	適 用	備 考
粘 性 土	○	$N \leq 30$
砂 質 土	○	$N \leq 50$
礫 質 土	○	$N \leq 50$ 、礫径200mm以下

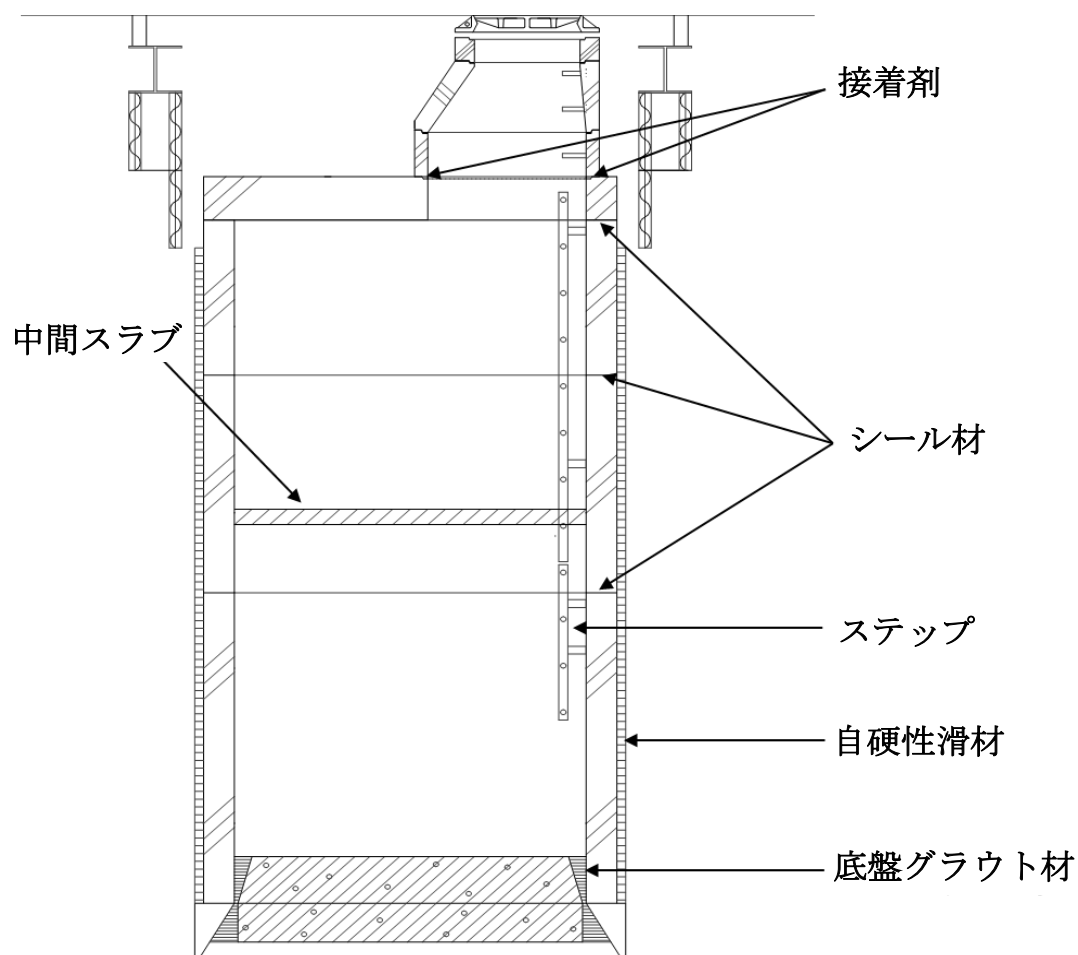
Ⅲ. 製品・付属品・仮設材の種類

製品一覧

内径 (mm)	名 称	記 号	主 要 寸 法 (mm)			参考質量 (kg)	備 考
			高 さ	外 径	内 径		
2500	刃 口	HG- 2500	500	3080	2520	1900	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 2500	1400	2980	2500	7100	
	沈設ブロック	CB・K- 2500	1000	2980	2500	5100	
	底盤ブロック	CB・TBK- 2500	650	2460	-	7190	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 2500	280	2980	-	4500	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
2200	刃 口	HG- 2200	400	2680	2220	1200	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 2200	2000	2580	2200	7000	
	沈設ブロック	CB・K- 2200	1400	2580	2200	4900	
	沈設ブロック	CB・K- 2200	1000	2580	2200	3500	
	底盤ブロック	CB・TBK- 2200	550	2160	-	4640	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 2200	280	2580	-	3100	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
2000	刃 口	HG- 2000	400	2450	2020	970	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 2000	2000	2350	2000	5800	
	沈設ブロック	CB・K- 2000	1400	2350	2000	4060	
	沈設ブロック	CB・K- 2000	1000	2350	2000	2900	
	底盤ブロック	CB・TBK- 2000	550	1960	-	3810	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 2000	280	2350	-	2680	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
1800	刃 口	HG- 1800	300	2220	1820	610	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 1800	2000	2120	1800	4800	
	沈設ブロック	CB・K- 1800	1400	2120	1800	3360	
	沈設ブロック	CB・K- 1800	1000	2120	1800	2400	
	底盤ブロック	CB・TBK- 1800	450	1760	-	2470	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 1800	280	2120	-	2100	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
1500	刃 口	HG- 1500	300	1880	1520	470	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 1500	2000	1780	1500	3500	
	沈設ブロック	CB・K- 1500	1400	1780	1500	2450	
	沈設ブロック	CB・K- 1500	1000	1780	1500	1750	
	底盤ブロック	CB・TBK- 1500	450	1460	-	1680	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 1500	280	1780	-	1330	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
1200	刃 口	HG- 1200	300	1530	1220	340	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 1200	2000	1430	1200	2300	
	沈設ブロック	CB・K- 1200	1400	1430	1200	1600	
	沈設ブロック	CB・K- 1200	1000	1430	1200	1150	
	底盤ブロック	CB・TBK- 1200	450	1160	-	1040	掘削完了後設置
	床版ブロック	SO- 1200	200	1430	-	480	組立マンホール据付用穴付
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	
900	刃 口	HG- 900	200	1264	920	210	第1ブロックに取付ける
	沈設ブロック	CB・K- 900	1800	1164	900	1890	
	沈設ブロック	CB・K- 900	1500	1164	900	1580	
	沈設ブロック	CB・K- 900	900	1164	900	950	
	沈設ブロック	CB・K- 900	600	1164	900	630	
	底盤ブロック	CB・TBK- 900	300	800	-	360	掘削完了後設置
	組立マンホール	MH-	組立マンホール			-	

・床版ブロックは開口部φ600・φ1200等の特殊品も対応可能である

専用部材・付属品の使用箇所



専用部材・付属品一覧

	名 称	記 号	規 格 ・ 仕 様
専用部材	自硬性滑材	CBGR	沈設時＝滑材 沈設終了後＝裏込め材 25kg/袋
	底盤グラウト材	CBBR	ベースロック 25kg/袋
	中間スラブ	CBFRP	FRP製 分割タイプ
	坑口 (削孔・取付共)	CBKO-0型	削孔径 φ 350mm ・ 塩ビ管 φ 150mm対応
		CBKO-1型	削孔径 φ 400mm ・ 塩ビ管 φ 200mm対応
		CBKO-2型	削孔径 φ 450mm ・ 塩ビ管 φ 250mm対応
		CBKO-3型	削孔径 φ 500mm ・ 塩ビ管 φ 300mm・鋼管 φ 300mm対応
	半削孔		必要箇所数に応じて計上
	鉄板取付(削孔・取付共)		各種削孔径・管種対応可
付属品	ステップ	CBSP・3A	梯子式 (ガイド部長さ2.98m・ステップ10本)
		CBSP・2A	梯子式 (ガイド部長さ2.38m・ステップ8本)
		CBSP・4A	梯子式 (ガイド部長さ1.6m・ステップ6本)
		CBSP・1A	梯子式 (ガイド部長さ1.0m・ステップ4本)
	接着剤	CBEP	床版ブロックと組立マンホールの接続
	シール材	CBSR	ブロックの接合部に使用 (水膨張性ゴム)

※中間スラブ・専用坑口・鉄板取付は土質・水位・現場状況等必要に応じて計上する。

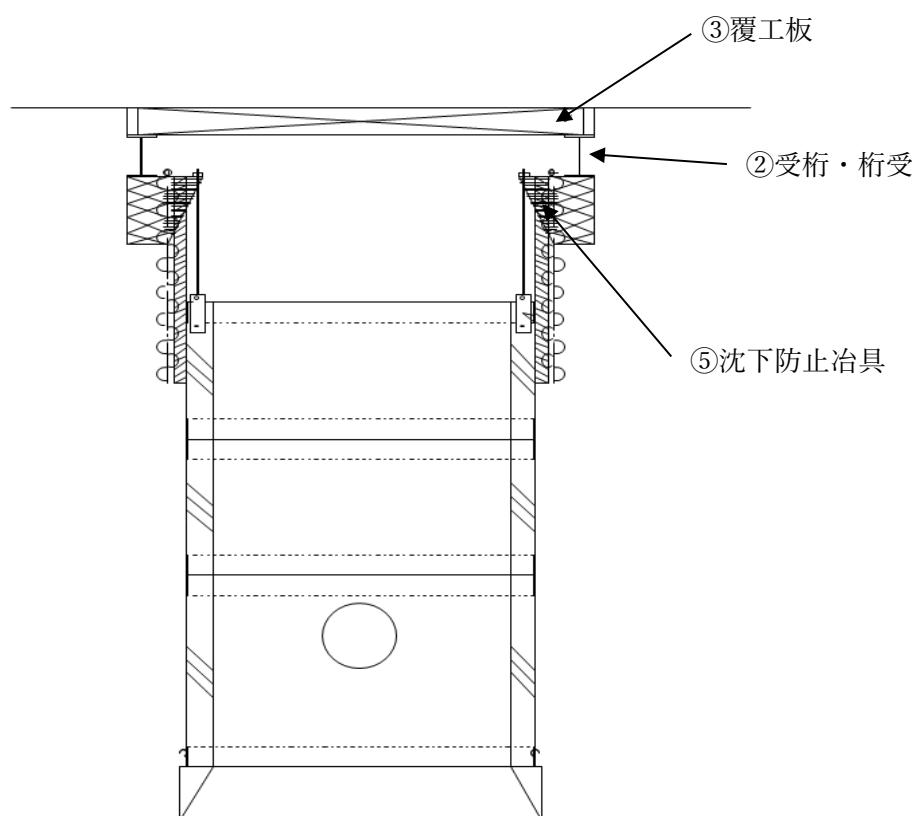
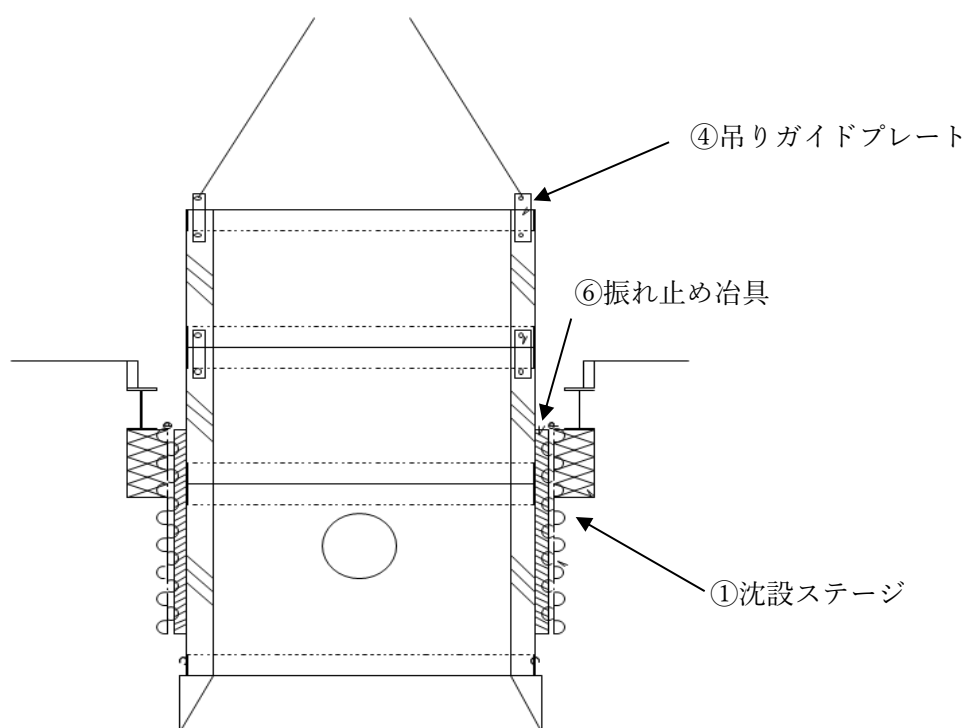
※本体ブロックに削孔は含まれない。必要に応じて別途計上。

仮設材の種類

仮設材一覧

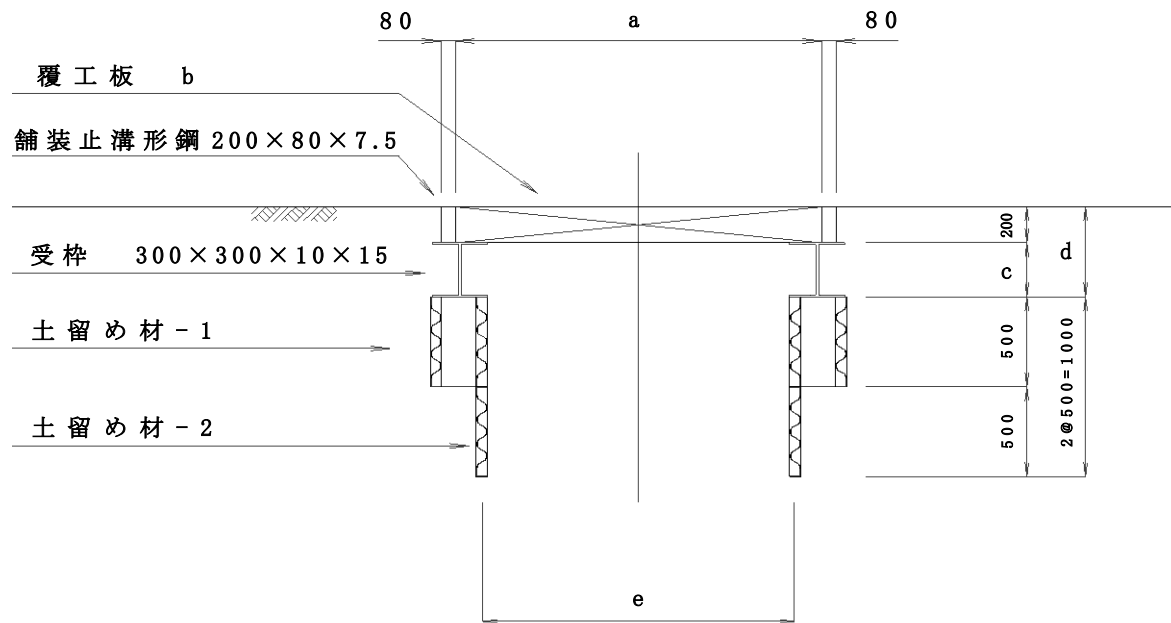
内径(mm)		名 称	寸 法	規 格 ・ 仕 様
2500	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 3200 ・参考重量 7t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=4000 (5本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	2000×1000×200(8枚)	
2200	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 2800 ・参考重量 6t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=3000 (2本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	3000×1000×200(3枚)	
2000	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 2600 ・参考重量 6t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=3000 (2本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	3000×1000×200(3枚)	
1800	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 2400 ・参考重量 6t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=3000 (2本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	3000×1000×200(3枚)	
1500	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 2000 ・参考重量 6t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=3000 (2本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	3000×1000×200(3枚)	
1200	①	沈設ステージ部材	土留め材-1 (上部0.5m) 4分割 土留め材-2 (下部0.5m) ϕ 1700 ・参考重量 5t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	②	受 桁 ・ 桁 受 ・ 舗装止	H形鋼 300×300 L=3000 (2本)	覆工板支持
	③	覆 工 板	2000×1000×200(2枚)	
900	①	沈設ステージ部材	土留め材-3 鋼製受枠 ϕ 2090 (0.5m) 土留め材-4 (内径 ϕ 1500ー外径 ϕ 2000) 2 段(1.0m) ・参考重量 3.48t	・圧入反力、各種治具取付 ・作業スペース、GLから0.5mに設置
	③	覆 工 板	円形 ϕ 2000	
共 通	④	吊りガイドプレート	溝形鋼(加工品) 100×50×250	・ブロック吊具 ・ブロック据え付け用ガイド
	⑤	沈下防止治具	固定プレート付ボルト	ストッパー・ナット付 L=1m・1.5m
	⑥	振れ止め治具	70×95	角材 L=1.0m 木製調整材 t=9mm

仮設材の使用箇所

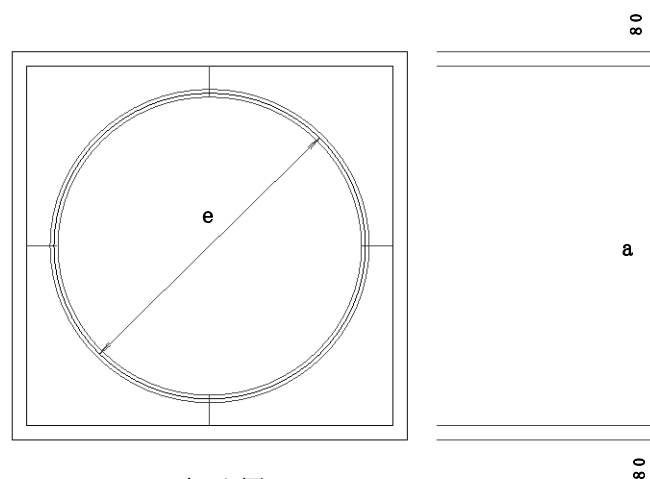


沈設ステージ・覆工形状図

内径2500, 2200, 2000, 1800, 1500, 1200



断面図



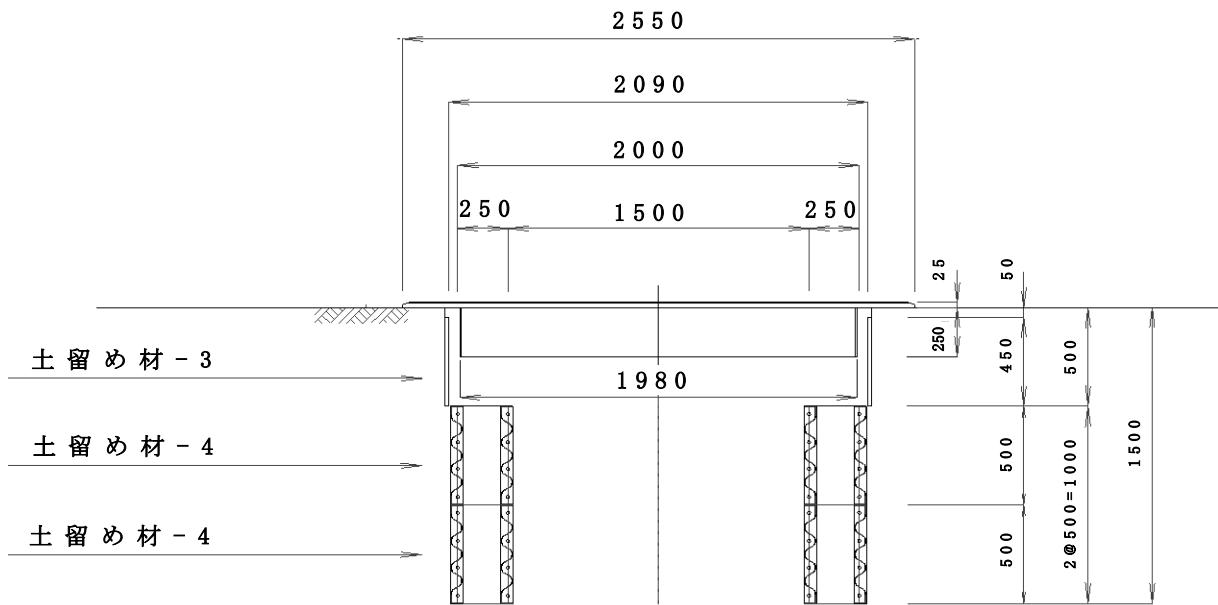
平面図

仮設材寸法表

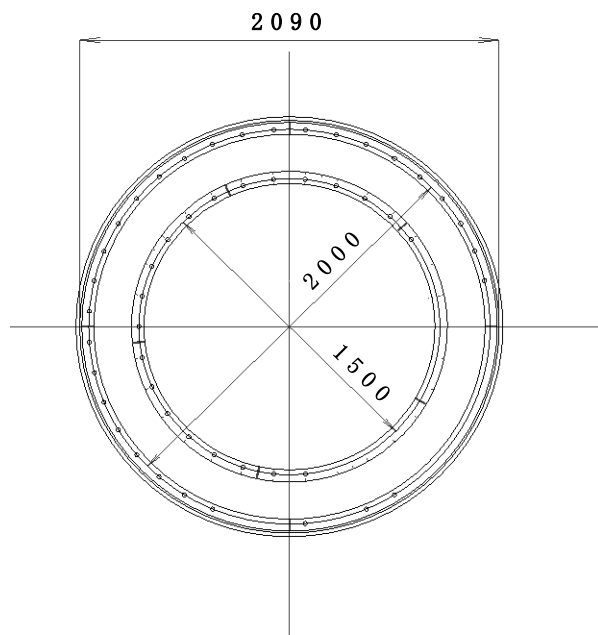
内 径	a	b	c	d	e
2500	4000	2000×1000×200 (8枚)	600	800	3200
2200	3000	3000×1000×200 (3枚)	300	500	2800
2000	3000	3000×1000×200 (3枚)	300	500	2600
1800	3000	3000×1000×200 (3枚)	300	500	2400
1500	3000	3000×1000×200 (3枚)	300	500	2000
1200	2000	2000×1000×200 (2枚)	300	500	1700

備考・現場環境、埋設物に応じてガイドコンクリート仕様(ライナープレート)に変更可能である。

内径900

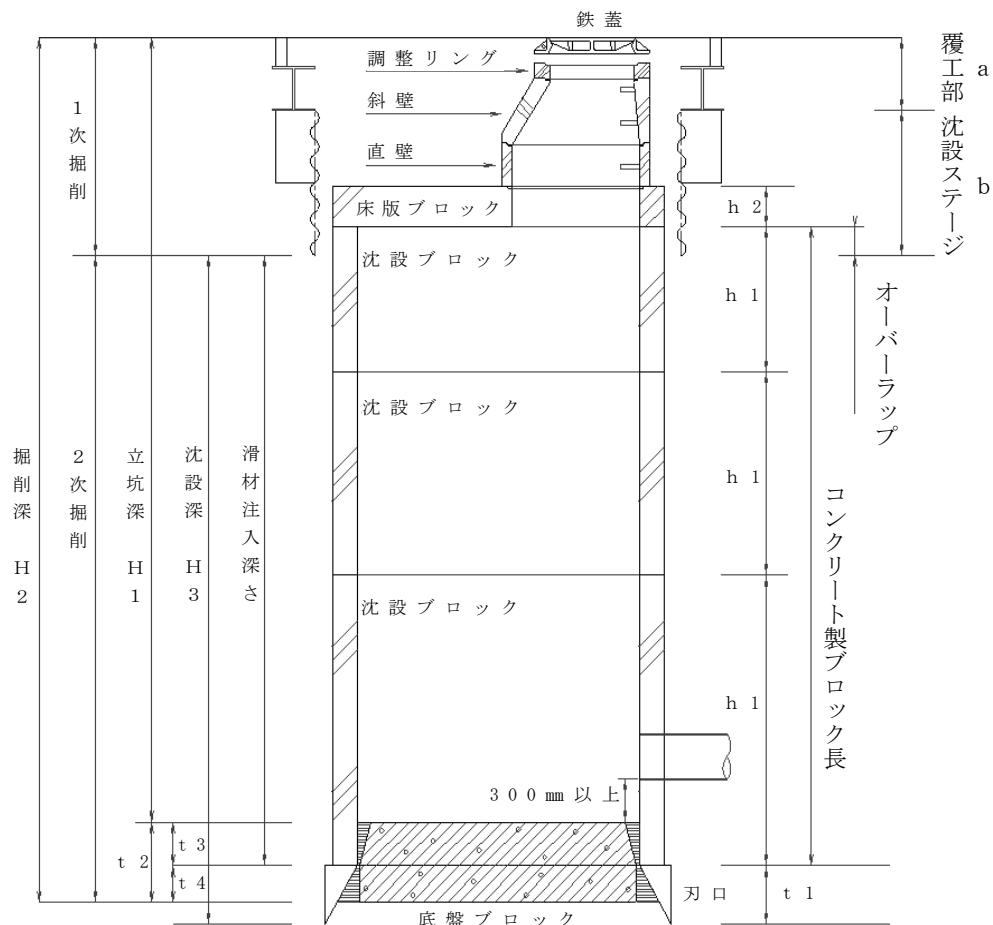


断面図



備考・現場環境、埋設物に応じてガイドコンクリート仕様(ライナープレート)に変更可能である。

IV. 標準組合せ表 (φ2500、φ2200、φ2000、φ1800、φ1500、φ1200)

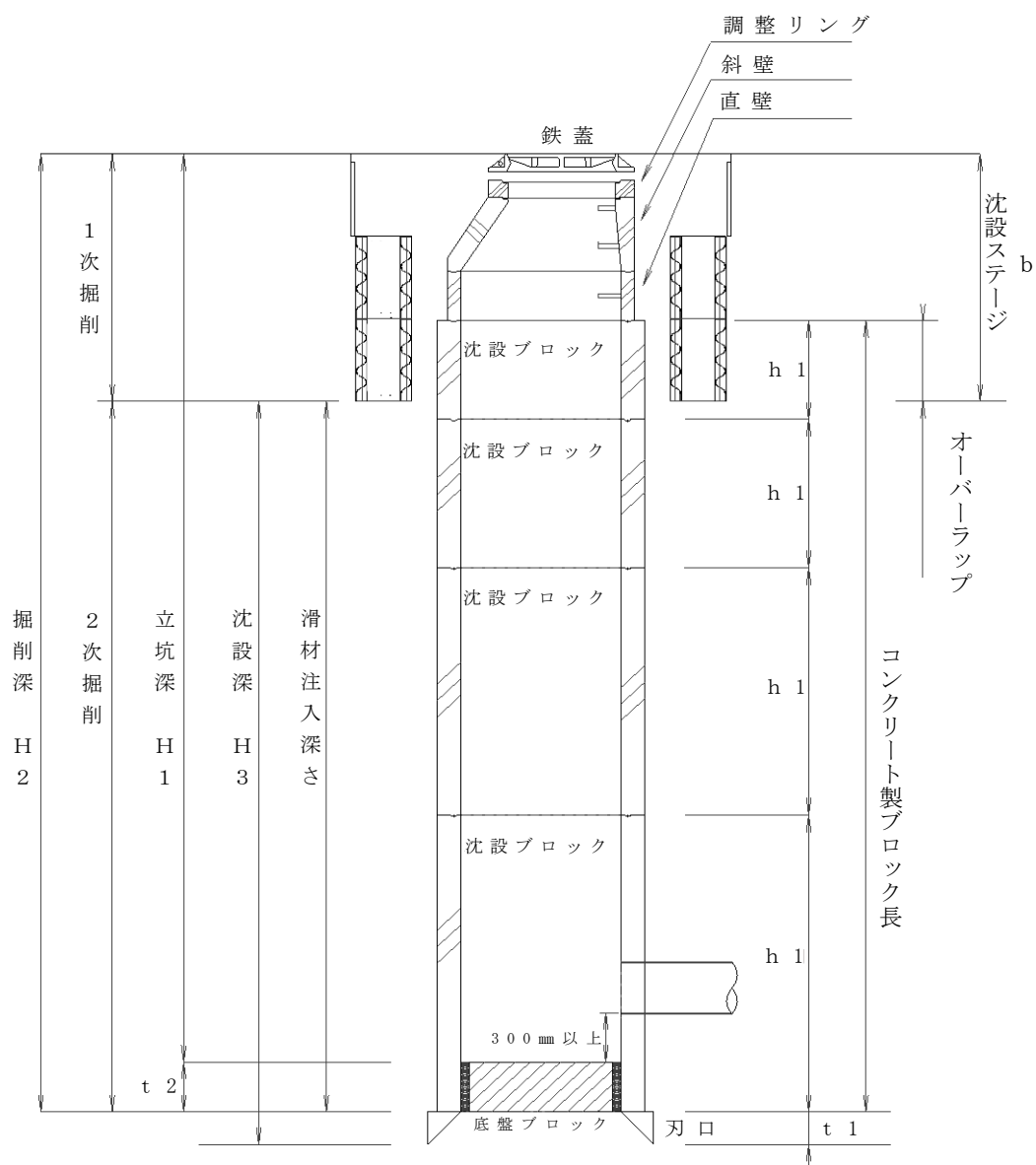


PMPⅡ	仮 設 部		本 体 部						上部組立マンホール部					
	覆工部	沈設 ステージ	刃口	底盤ブロック		沈設ブロック			床版 ブロック	組立マンホール				
										直 壁	斜 壁	調 整 リ ン グ	調 整 金 具	鉄 蓋
a (m)	b (m)	t1 (m)	t2 (m)	t3 t4 (m)	h1 (m)		h2 (m)							
2500	0.8	1.0	0.5	0.65	0.30 0.35	1.4		1.0	0.28					
2200	0.5	1.0	0.4	0.55	0.30 0.25	2.0	1.4	1.0	0.28					
2000	0.5	1.0	0.4	0.55	0.30 0.25	2.0	1.4	1.0	0.28					
1800	0.5	1.0	0.3	0.45	0.30 0.15	2.0	1.4	1.0	0.28					
1500	0.5	1.0	0.3	0.45	0.30 0.15	2.0	1.4	1.0	0.28					
1200	0.5	1.0	0.3	0.45	0.30 0.15	2.0	1.4	1.0	0.20					

備考1 ・第1ブロックは h1=2.0mを標準とする。但し、組合せ上 h1=1.4m、1.0mを適用することも可能である。

備考2 ・マンホールポンプの場合、調整コンクリートを考慮のこと。(標準厚さt=300)

標準組合せ表 (φ900)



PMP II	仮 設 部		本 体 部						上部組立マンホール部				
	沈設ステージ		刃口	底盤ブロック	沈設ブロック				組立マンホール				
	覆工有	覆工無							直	斜	調整	調整	鉄
	b (m)	b (m)	t1 (m)	t2 (m)	h1 (m)				壁	壁	リング	金具	蓋
900	1.5	1.0	0.2	0.3	1.8	1.5	0.9	0.6					

備考1 ・第1ブロックは h1=1.8mまたは1.5mを標準とする。但し、組合せ上 h1=0.9m、0.6mを適用することも可能である。

備考2 ・マンホールポンプの場合、調整コンクリートを考慮のこと。(標準厚さt=300)

備考3 ・内径900mmは床版ブロックを使用せず、組立マンホールを設置する。

V. 施工概要

1) 舗装版切断・破砕工

立坑構築箇所のコンクリート舗装版、アスファルト舗装版の切断・破砕作業および打ち換え全層の掘削、積込みの作業

2) 試掘工

立坑構築予定箇所のガス、上下水道、電力および通信ケーブルなどの種類や埋設位置を確認するための作業

3) 一次掘削工

立坑構築箇所の沈設ステージ設置部、路盤を掘削機械により掘削する作業

4) 沈設ステージ工

沈設ステージの設置・撤去の一連作業

※土留め材、反力躯体として使用

5) 沈下掘削積込み工

コンクリート製ブロックの建込みや掘削・積込み作業

6) ブロック溶接接続工

各ブロックの継手部に水膨張性ゴムを設置し、溶接して接続する作業

7) 滑材注入工

沈設ブロック外周面の空隙に自硬性滑材を充填する作業

8) 底盤工

掘削完了後、底盤ブロックを吊り下ろして設置、沈設ブロックとの隙間に底盤グラウトを充填する作業

※この部分は仮設底盤とみなし、底盤ブロック上部のインバート部(調整コンクリート)を本設底盤として区別するものとする

9) 立坑排水

地下水位以下の掘削において、底盤築造および養生完了後にブロック内の水を排水する作業

※排水処理費、泥水処分費は、関連法令(廃棄物の処理および清掃に関する法律等)に沿って適正に処理すること

10) 発生土処分工

一次掘削工・沈下掘削積込み工で発生する発生土運搬作業および処分。

(掘削時の発生土は水中掘削をしたものと、地下水位以上で掘削するものとその性状は異なる)

※発生土処理は関連法令(廃棄物の処理および清掃に関する法律等)に沿って適正に処理すること

11) 路面覆工

覆工板、覆工板受桁および桁受設置・撤去の一連作業

12) 路面復旧工

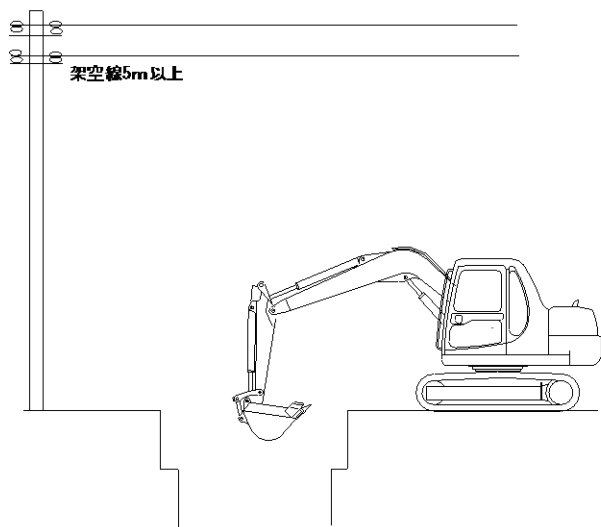
立坑構築後、道路の復旧に必要な作業

13) 機器輸送費

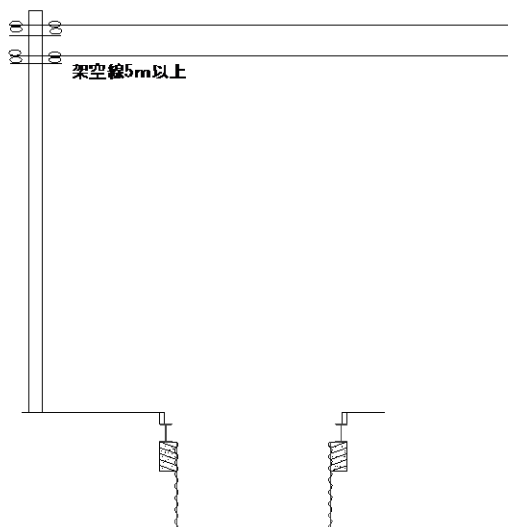
輸送機器は、掘削機械・圧入装置および沈設ステージ

VI. 施工手順

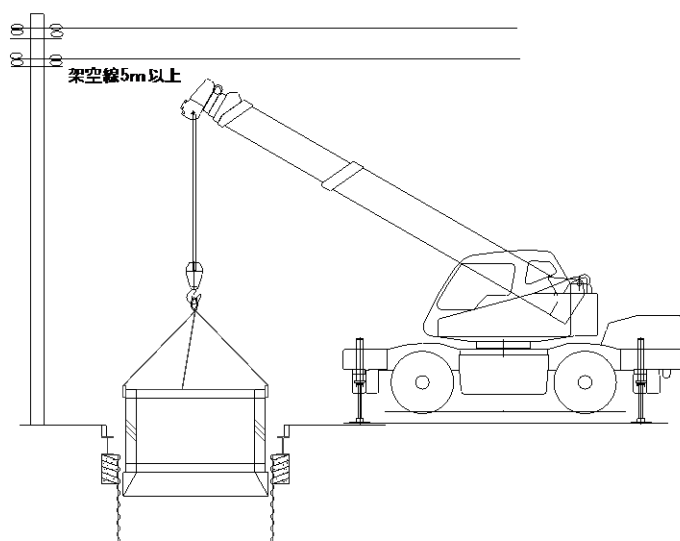
①一次掘削（路盤掘削）



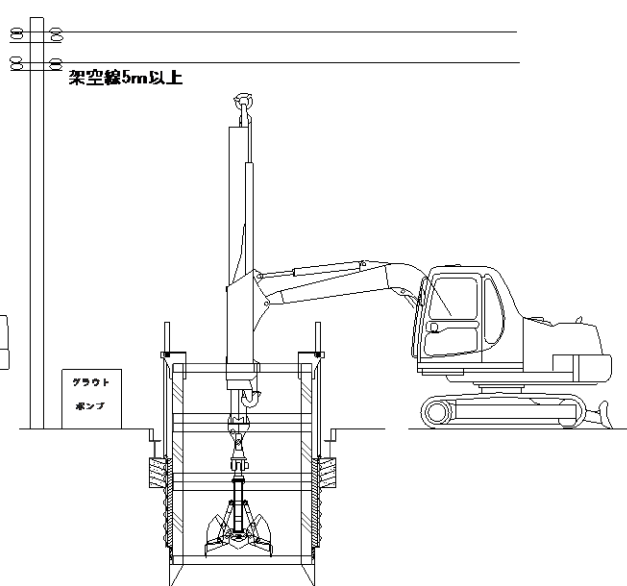
②沈設ステージ設置 覆土工



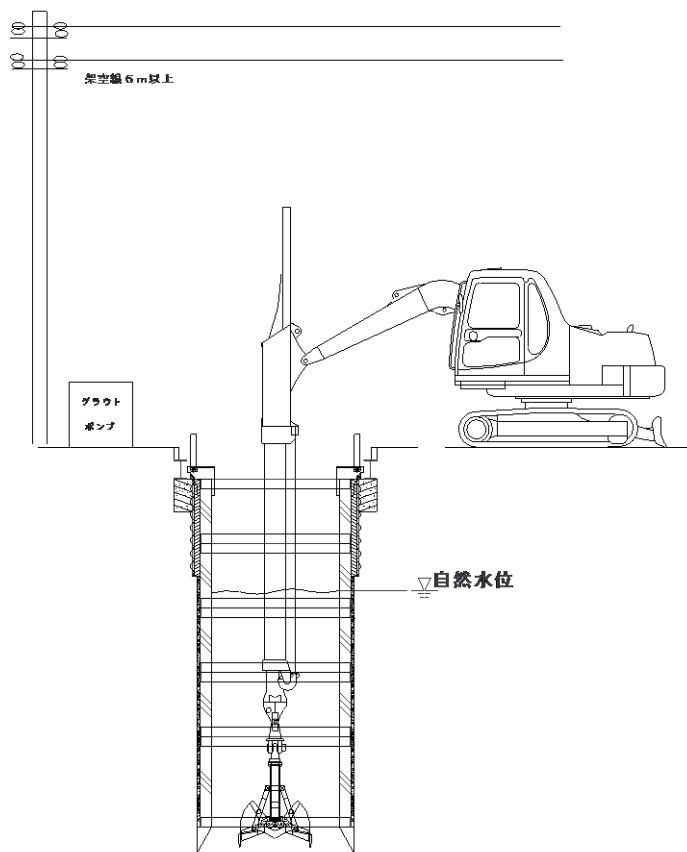
③刃口・第1ブロック設置



④圧入・掘削・沈設開始 自硬性滑材注入開始

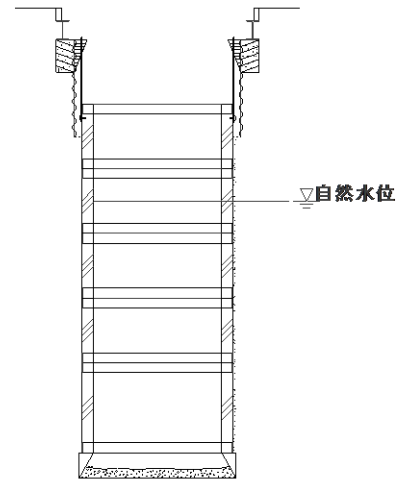


⑤最終ブロック・圧入・掘削・沈設

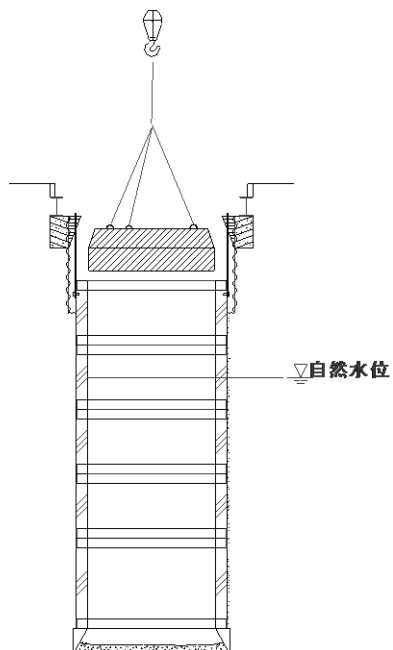


⑥掘削完了

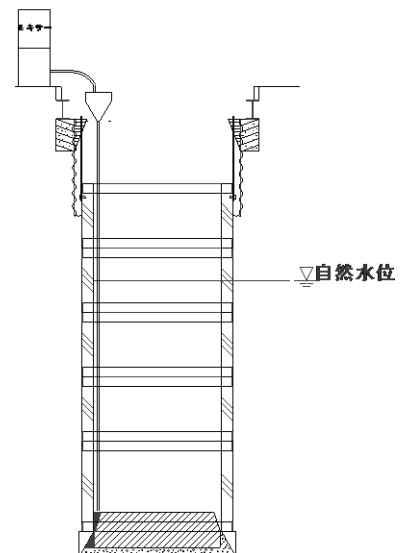
沈下防止岩具設置



⑦底盤ブロックの設置

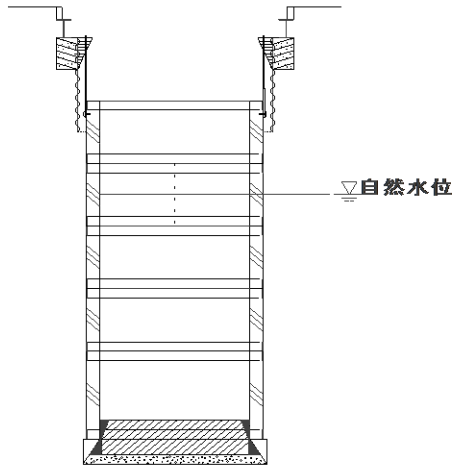


⑧底盤グラウト材打設



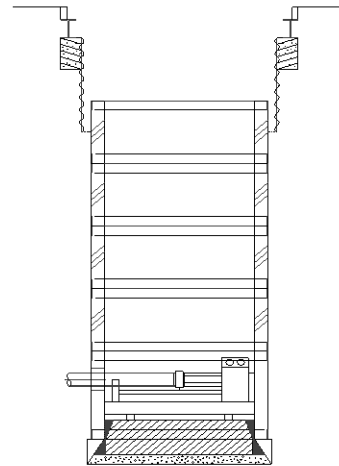
推進工事完了後

⑨水替え・立坑構築完了



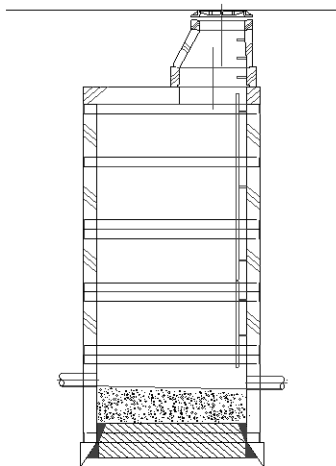
⑩鉄蓋・上部マンホール設置

ステップ取付・調整コンクリート打設



⑪覆工板・沈設ステージ撤去・埋戻し

施工完了



VII. 使用機材

使 用 機 械	用 途	規 格	台数	備 考
バ ッ ク ホ ウ	一 次 掘 削	山積0.45m ³ [平積0.35m ³]	1	
油圧クラムシェル	二 次 掘 削	0.25m ³ ～0.6m ³	1	テレスコピック式・クローラー型
ダンプトラック	排 土 運 搬	2t ・ 4t	1	
トラッククレーン	材 料 吊 り 込 み	4.9t吊	1	歩掛り及び数量表参照
ラフテレーン クレーン	材 料 吊 り 込 み	16t～25t	1	歩掛り及び数量表参照
圧 入 装 置	圧 入 沈 設	3点式	1	全サイズ共通
溶 接 機	ブ ロ ッ ク 接 合	250A	1	
グラウトポンプ	自 硬 性 滑 材 注 入	横型2連動	1	37～100 ℓ / 分
グラウトミキサー		上下2槽	1	200 ℓ × 2
発 動 発 電 機	電 力	25kVA	1	

【Ⅷ. 設計積算資料】

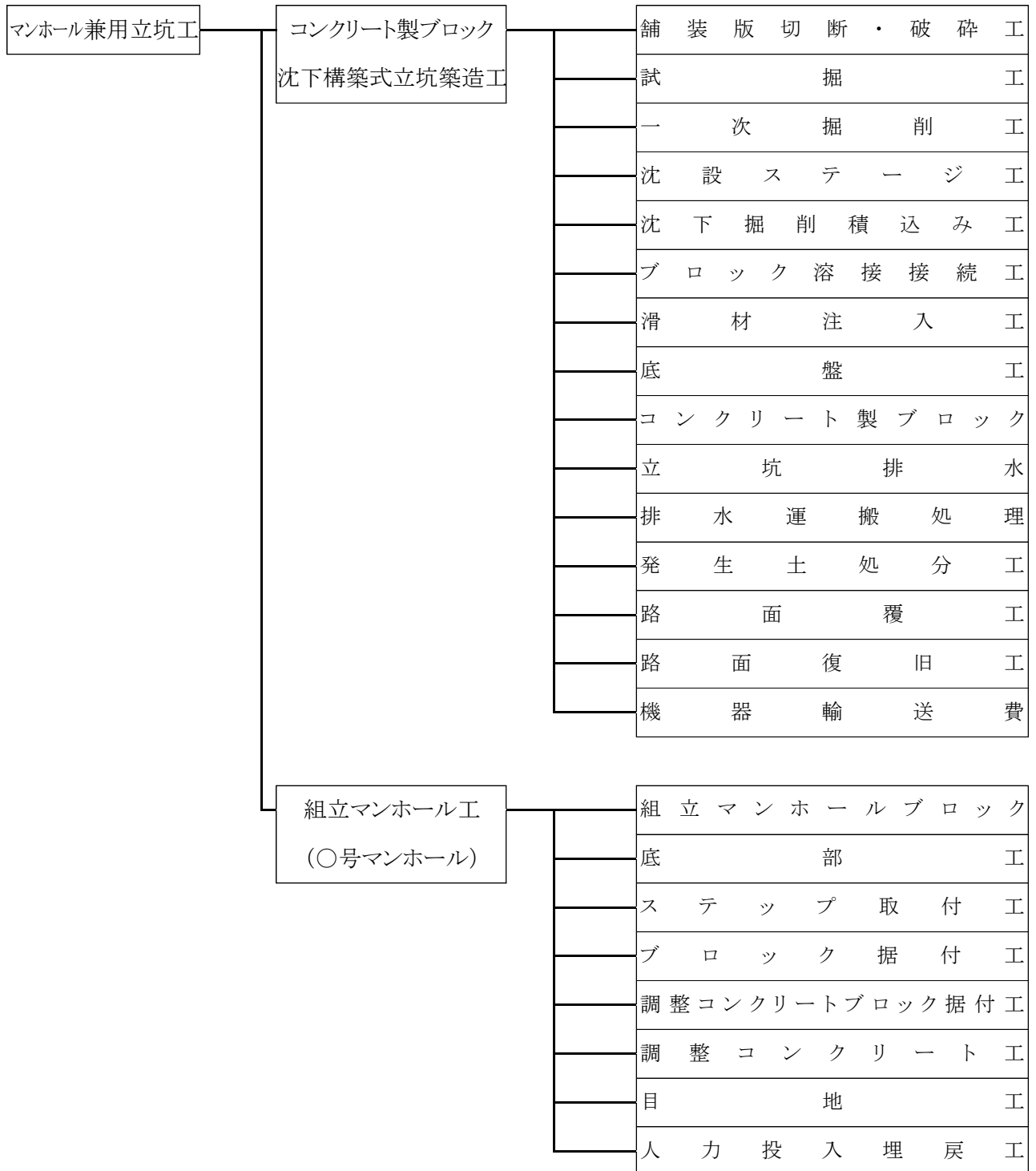
工事費の構成

(直接工事費内訳)

A代価

B代価

C代価



マンホール兼用立坑工				内訳書()号		A-1	
一式				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	コンクリート製ブロック 沈下構築式立坑築造工		式	1			B-1
	組立マンホール工		式	1			B-2
	計						

コンクリート製ブロック沈下構築式立坑築造工				内訳書()号		B-1	
一式				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	舗装版切断・破碎工		式	1			必要に応じて計上
	試掘工		式	1			必要に応じて計上
	一次掘削工		箇所	1			C-1
	沈設ステージ工		箇所	1			C-2
	沈下掘削積込み工 (二次掘削工)		m				C-3
	ブロック溶接接続工		式	1			C-4
	滑材注入工		箇所	1			C-5
	底盤工		箇所	1			C-6
	コンクリート製ブロック		式	1			C-7
	立坑排水		箇所	1			C-8
	排水運搬処理		箇所	1			C-9
	発生土処分工		式	1			C-10
	路面覆工		式	1			C-11
	路面復旧工		式	1			必要に応じて計上
	機器輸送費		式	1			C-12
	計						

備考 1.発生土処分工は、関連法令(廃棄物の処理および清掃に関する法律等)に沿って適正に処理すること。
2.コンクリート製ブロックは、設置後マンホールとして使用する。
3.機器輸送費は、掘削重機・圧入機器・沈設ステージの輸送に関する費用。

組立マンホール工 (〇号マンホール)				内訳書()号		B-2	
一式				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	組立マンホールブロック		式	1			C-13
	底部工		箇所	1			C-14
	ステップ取付工		m	※1			C-15
	ブロック据付工	斜壁・直壁・床版ブロック	個				C-16
	調整コンクリートブロック据付工		組	1			C-17
	調整コンクリート工		箇所	1			C-18
	目地工		m				C-19
	人力投入埋戻工		m ³				C-20
	計						

備考 1.専用の床版ブロックおよび中間スラブは、工法協会に問合わせる。
2.1箇所当りのステップ取付長は数量計算表を参照。

一次掘削工				内訳書()号		C-1	
1箇所当り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	機械掘削工		m ³				C-1-1、表-1
	諸雑費		式	1			端数処理
	計						

機械掘削工				内訳書()号		C-1-1	
100m ³ 当り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土木一般世話役		人	1.5			
	普通作業員		人	3.9			
	バックホウ運転	0.45m ³ [平積0.35m ³]	時間	8.8			運転単価表-1
	計		式	1			
	1m ³ 当り						計/100m ³

備考 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

沈設ステージ工				内訳書()号		C-2	
1箇所当り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	沈設ステージ設置工		箇所	1			C-2-1
	沈設ステージ撤去工		箇所	1			C-2-2
	沈設ステージ損料		式	1			C-2-3
	計						

沈 設 ス テ ー ジ 設 置 工				内訳書()号		C-2-1	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人				表-2
	特 殊 作 業 員		人				表-2
	普 通 作 業 員		人				表-2
	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型4.9t	日				表-2
	諸 雑 費		式	1			備考
	計						

備考 諸雑費は、吊りワイヤー・接合ボルト等に関する費用であり、労務費の合計に4%を乗じた金額を上限とし計上する。

沈 設 ス テ ー ジ 撤 去 工				内訳書()号		C-2-2	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人				表-3
	特 殊 作 業 員		人				表-3
	普 通 作 業 員		人				表-3
	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型4.9t	日				表-3
	諸 雑 費		式	1			備考
	計						

備考 諸雑費は、吊りワイヤー・接合ボルト等に関する費用であり、労務費の合計に4%を乗じた金額を上限とし計上する。

沈 設 ス テ ー ジ 損 料				内訳書()号		C-2-3	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	沈 設 ス テ ー ジ 損 料		供用日				
	計						

備考 損料日数については、沈設ステージ設置日数＋沈設工日数＋（推進工日数）＋マンホール設置日数＋ステージ撤去日数を加算し、合計を計上する。なお、（推進工日数）は必要に応じて計上する。

沈 下 掘 削 積 込 み 工				内訳書()号		C-3	
1 m 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	M*a/T			
	特 殊 作 業 員		人	M*a/T			
	普 通 作 業 員		人	M*a/T			
	発 動 発 電 機 運 転 費	25kVA	日	a/T			運転単価表-4
	ク ラ ム シ ェ ル 運 転 (テ レ ス コ ピ ッ ク 式)	バケット容量○m³	時間	a			運転単価表-3
	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料 又 は ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型○ t吊	日	a/T			表-7
	圧 入 装 置 損 料		時間	a			
	諸 雑 費		式	1			労務費の1%計上
	計						

備考 M：1日当りの配置人員 表-4(歩掛及び数量表)
a：1m当りの施工時間 表-5(歩掛及び数量表)
T： クラムシェルの運転日当たり運転時間は「建設機械等損料表」による。
T＝年間標準運転時間/年間標準運転日数

ブ ロ ッ ク 溶 接 接 続 工				内訳書()号		C-4	
一 式				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ブ ロ ッ ク 溶 接 工		m				C-4-1、表-8
	計						

備考 ブロック接続1箇所当りの溶接延長は、表-8による。ブロック溶接総延長は、表-8×コンクリート製ブロック使用個数とする。

ブ ロ ッ ク 溶 接 工				内訳書()号		C-4-1	
10 m 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.15			
	溶 接 工		人	0.30			
	諸 雑 費		式	1			備考2
	計						
	1 m 当 り						計／10m

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。

備考2 諸雑費は、溶接機250A、溶接棒、アセチレンガス、酸素等の費用であり、労務費の合計に22%を乗じた金額を上限として計上する。

滑 材 注 入 工				内訳書()号		C-5	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	滑 材 注 入		m³				C-5-1、表-9
	計						

滑 材 注 入				内訳書()号		C-5-1	
1 日 当 り (3 m ³)				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	滑 材	自硬性滑材	m ³	3			C-5-1-1
	土 木 一 般 世 話 役		人	1.0			
	特 殊 作 業 員		人	2.0			
	普 通 作 業 員		人	1.0			
	グ ラ ウ ト ミ キ サ 損 料	上下2槽式2000*2	日	1			
	グ ラ ウ ト ボ ン プ 損 料	横型2運動37~100 l/分	日	1			
	発 動 発 電 機 運 転 費	25kVA	日	1			運転単価表-4
	諸 雑 費		式	1			備考2
	計						
	1 m ³ 当 り						計/3m ³

備考1 1日当り標準注入量は3m³/日とする。

備考2 諸雑費は、注入ホースの費用であり、注入材料の0.5%の金額を上限として計上する。

滑 材				内訳書()号		C-5-1-1	
1 m ³ 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	自 硬 性 滑 材		kg	500			
	水		m ³	0.55			
	計						

底 盤 工				内訳書()号		C-6	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	底 盤 ブ ロ ッ ク 設 置 工		箇所	1			C-6-1
	底 盤 グ ラ ウ ト 材 注 入 工		箇所	1			C-6-2
	計						

底 盤 ブ ロ ッ ク 設 置 工				内訳書()号		C-6-1	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.35			
	特 殊 作 業 員		人	0.35			
	普 通 作 業 員		人	0.35			
	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料 又 は ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型○ t吊	日	0.35			表-7
	諸 雑 費	吊ワイヤー	式	1			備考
	計						

備考 諸雑費は、吊りワイヤー等に関する費用であり、労務費の合計に10%を乗じた金額を上限とする。

底 盤 グ ラ ウ ト 材 注 入 工				内訳書()号		C-6-2	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	底 盤 グ ラ ウ ト 材	ベースロック	m ³				C-6-2-1、表-11
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.20			
	普 通 作 業 員		人	0.20			
	特 殊 作 業 員		人	0.20			
	諸 雑 費		式	1			備考
	計						

備考 諸雑費は、打設管・発電機・ミキサー等に関する費用であり、労務費の合計額に20%を乗じた金額を上限として計上する。

底 盤 グ ラ ウ ト 材				内訳書()号		C-6-2-1	
1 m ³ 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ベ ー ス ロ ッ ク		kg	1800			
	水		m ³	0.45			
	計						

コンクリート製ブロック				内訳書()号		C-7		
一 式				内径○○○○mm用		単価表()号		
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	刃	口	H=	個	1			
	沈 設 ブ ロ ッ ク	H=	個					ステップ付属
	沈 設 ブ ロ ッ ク	H=	個					ステップ付属
	沈 設 ブ ロ ッ ク	H=	個					ステップ付属
	沈 設 ブ ロ ッ ク	H=	個					ステップ付属
	底 盤 ブ ロ ッ ク	H=	個	1				
	鉄 板 取 付	取付・削孔共	箇所					必要に応じて計上
	専 用 坑 口 取 付	取付・削孔共	箇所					必要に応じて計上
	ブ ロ ッ ク 半 削 孔		箇所					必要に応じて計上
	沈 下 防 止 治 具		式	1				
	振 れ 止 め 治 具		式	1				
	計							

備考 ステップは、沈設ブロック付属品であり部材価格に含む。

立 坑 排 水				内訳書()号		C-8		
1 箇 所 当 り				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	う わ 水 排 水 工		箇所	1				C-8-1
	排 出 水 処 理 費		m ³					※
	計							

※ 排水処理費は、関連法令(廃棄物の処理および清掃に関する法律等)に沿って適正に処理すること。

う わ 水 排 水 工				内訳書()号		C-8-1		
1 箇 所 当 り				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.12				
	普 通 作 業 員		人	0.12				
	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型4.9 t吊	日	0.12				
	諸 雑 費		式	1				備考2
	計							

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。

備考2 諸雑費は、発動発電機運転および潜水ポンプ・ポンプ配管材料の損料等の費用であり、労務費とトラッククレーン賃料の合計に7%を乗じた金額を上限として計上する。

排 水 運 搬 処 理				内訳書()号		C-9		
1 箇 所 当 り				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	ス ラ イ ム 処 理 工		箇所	1				C-9-1
	泥 水 処 分 工 (ス ラ イ ム 処 分 工)		m ³					C-9-2、備考2
	泥 水 処 分 費		m ³					備考2
	計							

備考 1.泥水処分工の使用機械は汚泥吸排車を標準とする。

備考 2.1箇所当りのスライム処分量については表-13を参照する。

ス ラ イ ム 処 理 工				内訳書()号		C-9-1		
1 箇 所 当 り				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	土 木 一 般 世 話 役		人					
	特 殊 作 業 員		人					
	普 通 作 業 員		人					
	諸 雑 費		式	1				端数処理
	計							

泥 水 処 分 工				内訳書()号		C-9-2		
10 m ³ 当 り				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	汚 泥 吸 排 車 運 転 費		日					表-14、運転単価表-9
	計							
	1 m ³ 当 り							計/10m ³

発 生 土 処 分 工				内訳書()号		C-10		
一 式				単価表()号				
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
	発 生 土 運 搬 工	ダンプトラック運搬	m ³					C-10-1
	発 生 土 受 入 費		m ³					
	計							

発 生 土 運 搬 工				内訳書()号		C-10-1	
10m ³ 当り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	ダンプトラック運搬	2t・4t積	日				運転単価表-5、6
	計		式	1			
1	m ³ 当り						計/10m ³

路 面 覆 工				内訳書()号		C-11	
一 式				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	矩 形 覆 工		式	1			C-11-1
	円 形 覆 工		式	1			C-11-2
	計						

備考 内径1200mm～2500mmは矩形覆工、内径900mmは円形覆工を適用する。

矩 形 覆 工				内訳書()号		C-11-1	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	覆工板・覆工板受桁設置工		m ²				C-11-1-1、備考2
	覆工板・覆工板受桁撤去工		m ²				C-11-1-2、備考2
	覆工板開閉工		m ²				C-11-1-3、備考2、3
	覆工板賃料		式	1			C-11-1-4
	覆工板受桁賃料		式	1			C-11-1-5
	計						

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

備考2 覆工板設置工・撤去工ならびに開閉工の数量は、表-15を参照。

備考3 覆工板開閉工は1日当り開け閉め1回ずつとし、それぞれの面積を計上する。

1箇所当りの覆工板覆工板開閉工数量(m²) = 覆工板設置面積(m²)×2(1日当り2回)×施工日数

覆工板・覆工板受桁設置工				内訳書()号		C-11-1-1	
100m ² 当り (覆工板設置面積50m ² 以下)				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	3.45			
	と び		人	6.90			
	溶 接 工		人	3.45			
	普 通 作 業 員		人	3.45			
	パ ッ ク ホ ウ 運 転	0.45m ³ [平積0.35m ³]	日	3.45			運転単価表-2
	諸 雑 費		式	1			備考2
	計						
1	m ² 当り						計/100m ²

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

備考2 諸雑費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機運転経費等の費用であり、労務費の合計に9%を乗じた金額を上限として計上する。

覆工板・覆工板受桁撤去工				内訳書()号		C-11-1-2	
100m ² 当り (覆工板設置面積50m ² 以下)				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	2.10			
	と び		人	4.20			
	溶 接 工		人	2.10			
	普 通 作 業 員		人	2.10			
	パ ッ ク ホ ウ 運 転	0.45m ³ [平積0.35m ³]	日	2.10			運転単価表-2
	諸 雑 費		式	1			備考2
	計						
1	m ² 当り						計/100m ²

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

備考2 諸雑費は、溶接棒、アセチレンガス、酸素、溶接機損料、溶接機運転経費等の費用であり、労務費の合計に11%を乗じた金額を上限として計上する。

覆 工 板 開 閉 工				内訳書()号		C-11-1-3	
100m ² 当り (覆工板設置面積50m ² 以下)				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.44			
	普 通 作 業 員		人	0.44			
	クレーン装置付トラック運転	4t級 2.9t吊	日	0.44			運転単価表-8
	諸 雑 費		式	1			備考2
	計						
1	m ² ・ 1 回 当 り						計/100m ²

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

備考2 開け、閉めそれぞれの面積を計上する。

覆 工 板 賃 料				内訳書()号		C-11-1-4	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	覆 工 板 賃 料	L*1000W*200H*○枚	m ² ・日				
	覆 工 板 整 備 費		m ² ・日				
	計						

備考 賃料日数(供用日)については、沈設ステージ設置日数+沈設工日数+(推進工日数)+マンホール設置日数+沈設ステージ撤去日数を加算し、合計を計上する。なお、(推進工日数)は必要に応じて計上する。

覆 工 板 受 枠 賃 料				内訳書()号		C-11-1-5	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	H 形 鋼 賃 料		t・日				表-16
	H 形 鋼 整 備 費		t				備考
	溝 形 鋼 材 料 費		t				
	計						

備考 賃料日数(供用日)については、沈設ステージ設置日数+沈設工日数+(推進工日数)+マンホール設置日数+沈設ステージ撤去日数を加算し、合計を計上する。なお、(推進工日数)は必要に応じて計上する。

円 形 覆 工				内訳書()号		C-11-2	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	円 形 覆 工 板 設 置 工		箇所				C-11-2-1
	円 形 覆 工 板 撤 去 工		箇所				C-11-2-2
	円 形 覆 工 板 開 閉 工		回				C-11-2-3、備考2
	円 形 覆 工 板 賃 料 等		式	1			C-11-2-4
	計						

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。
備考2 円形覆工板開閉工は1日当り開け閉め合わせて1回とする。
1箇所当りの円形覆工板開閉工数量(回) = 1回/日×施工日数

円 形 覆 工 板 設 置 工				内訳書()号		C-11-2-1	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.04			
	特 殊 作 業 員		人	0.04			
	普 通 作 業 員		人	0.08			
	クレーン装置付トラック運転	4t級 2.9t吊	時間	0.30			運転単価表-7
	諸 雑 費		式	1			端数処理
	計						

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。

円 形 覆 工 板 撤 去 工				内訳書()号		C-11-2-2	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.04			
	普 通 作 業 員		人	0.04			
	クレーン装置付トラック運転	4t級 2.9t吊	時間	0.29			運転単価表-7
	諸 雑 費		式	1			端数処理
	計						

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。

円 形 覆 工 板 開 閉 工				内訳書()号		C-11-2-3	
1 回 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.07			
	普 通 作 業 員		人	0.14			
	クレーン装置付トラック運転	4t級 2.9t吊	時間	0.55			運転単価表-7
	諸 雑 費		式	1			端数処理
	計						

備考1「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。
備考2 開閉工は、開けと閉めを合わせて1回とする。

円 形 覆 工 板 賃 料				内訳書()号		C-11-2-4	
1 箇 所 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	円 形 覆 工 板 賃 料	呼び径φ2000 T-25	日				
	円 形 覆 工 板 整 備 費		枚	1			
	計						

備考 賃料日数(供用日)については、沈設ステージ設置日数+沈設工日数+(推進工日数)+マンホール設置日数+沈設ステージ撤去日数を加算し、合計を計上する。なお、(推進工日数)は必要に応じて計上する。

機器輸送費（掘削重機・圧入機器・沈設ステージ）				内訳書（ ）号		C-12	
一 式				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	2500用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	2200用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	2000用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	1800用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	1500用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	1200用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	900用	25t積トレーラー 1台往復	台	2			
		11t積トラック 1台往復					
	計						

組 立 マ ン ホ ール ブ ロック				内訳書（ ）号		C-13	
一 式				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	蓋		組	1			
	斜 壁		個				
	直 壁		個				
	調 整 金 具		個				
	調 整 リ ン グ		個				
	床 版 ブ ロ ッ ク		個				
	中 間 ス ラ ブ	FRP製	枚				
	計						

底 部 工（インパート工）				内訳書（ ）号		C-14	
1 箇 所 当 り				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	コ ン ク リ ー ト 工	小型構造物人力打設	m ³				C-14-1
	モ ル タ ル 上 塗 工	（配合1:2）T=20mm	m ²				（内面仕上げ含む）
	計						

備考 底部は、インパートを考慮し適正に処理すること。

コ ン ク リ ー ト 工				内訳書（ ）号		C-14-1	
10m3当り 小型構造物人力打設 一般養生、小運搬無				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.91			
	特 殊 作 業 員		人	1			
	普 通 作 業 員		人	2.65			
	コ ン ク リ ー ト	21-8-40	m ³	10.6			
	諸 雑 費		式	1			備考
	計						
	1 m ³ 当 り						計/10m ³

備考 諸雑費は、シュート・ホッパー・パイプレタ損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に4%を乗せた金額を上限として計上する。

ス テ ッ プ 取 付 工				内訳書（ ）号		C-15	
1 m 当 り				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	特 殊 作 業 員		人	0.07			
	普 通 作 業 員		人	0.07			
	コ ン ク リ ー ト 削 孔 工		個所	2.0			C-15-1
	計						

備考 1.ステップは、沈設ブロック付属品であり部材価格に含むものとする。

コ ン ク リ ー ト 削 孔 工				内訳書（ ）号		C-15-1	
ハンマードリル38mm 100孔当り				単価表（ ）号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.3			
	特 殊 作 業 員		人	1.2			
	普 通 作 業 員		人	0.4			
	発 動 発 電 機 賃 料	2kVAガソリン駆動	日	1.7			
	諸 雑 費		式				備考
	計						
	1 孔 当 り						計/100孔

備考 諸雑費は、ハンマードリル損料等の費用であり、労務費、賃料の合計額に24%を乗せた金額を上限として計上する。

ブ ロ ッ ク 据 付 工				内訳書()号		C-16	
1 個 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	世 話 役		人	0.1			
	特 殊 作 業 員		人	0.1			
	普 通 作 業 員		人	0.2			
	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料 又 は ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型○t吊	日	0.1			表-17
	諸 雑 費		式	1			備考1
	計						

備考1 諸雑費は、モルタル工(配合1:2、敷厚1cm)の費用であり労務費の合計額に3%を乗せた金額を上限として計上する。

備考2 内径900mmは床版ブロックを使用せず、組立マンホールを設置する。

調 整 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 据 付 工				内訳書()号		C-17	
1 組 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.13			(0.08)
	特 殊 作 業 員		人	0.13			(0.08)
	普 通 作 業 員		人	0.26			(0.16)
	ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧収縮ジブ型○t吊	日	0.13			(0.08)
	諸 雑 費		式	1			備考3
	計						

備考1 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

備考2 本歩掛は、蓋(受枠とも)と調整コンクリートブロック一組当たりの設置に適用する。

備考3 諸雑費は、モルタル工(配合1:2、敷厚1cm)の費用であり労務費の合計額に6%(5%)を乗じた金額を上限として計上する。

備考4 調整コンクリートブロックを使用しない場合には()内の値を計上する。

調 整 コ ン ク リ ー ト 工				内訳書 (号)		C-18	
1 箇 所 当 り				単価表 (号)			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	コ ン ク リ ー ト 工	小型構造物人力打設	m ³				C-14-1、備考
	計						

備考 1箇所当りのコンクリート量は、表-18を標準(t=0.3m)する。

目 地 工 1 m 当 り				内訳書 (号)		C-19	
10m当り				単価表 (号)			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	土 木 一 般 世 話 役		人	0.13			
	普 通 作 業 員		人	0.45			
	モ ル タ ル	(配合1:2)	m ³	0.37			
	諸 雑 費		式	1			備考3
	計						
	1 m 当 り						計／10m

備考 1.本歩掛は、沈設ブロック接続部に適用するものとする。内径900mmは計上しない。

2.1箇所当りの目地工延長＝沈設ブロック内周(m)×沈設ブロック接続箇所(ブロック数-1)

3.諸雑費は、労務費と材料費の合計に20%を乗じた金額を上限として計上する。

人 力 投 入 埋 戻 工 1 m ³ 当 り				内訳書()号		C-20	
100m ³ 当 り				単価表()号			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	普 通 作 業 員		人	23.0			
	埋 戻 土	埋め戻し砕石	m ³				
	タ ン パ 運 転	60～80kg	日	3.0			C-20-1
	諸 雑 費		式	1			端数処理
	計						
	1 m ³ 当 り						計／100m ³

備考 1.埋戻土量は、表-19の土質変化率を考慮する。

2.埋戻し土量は、一次掘削土量からマンホール部を差し引いた土量とする。

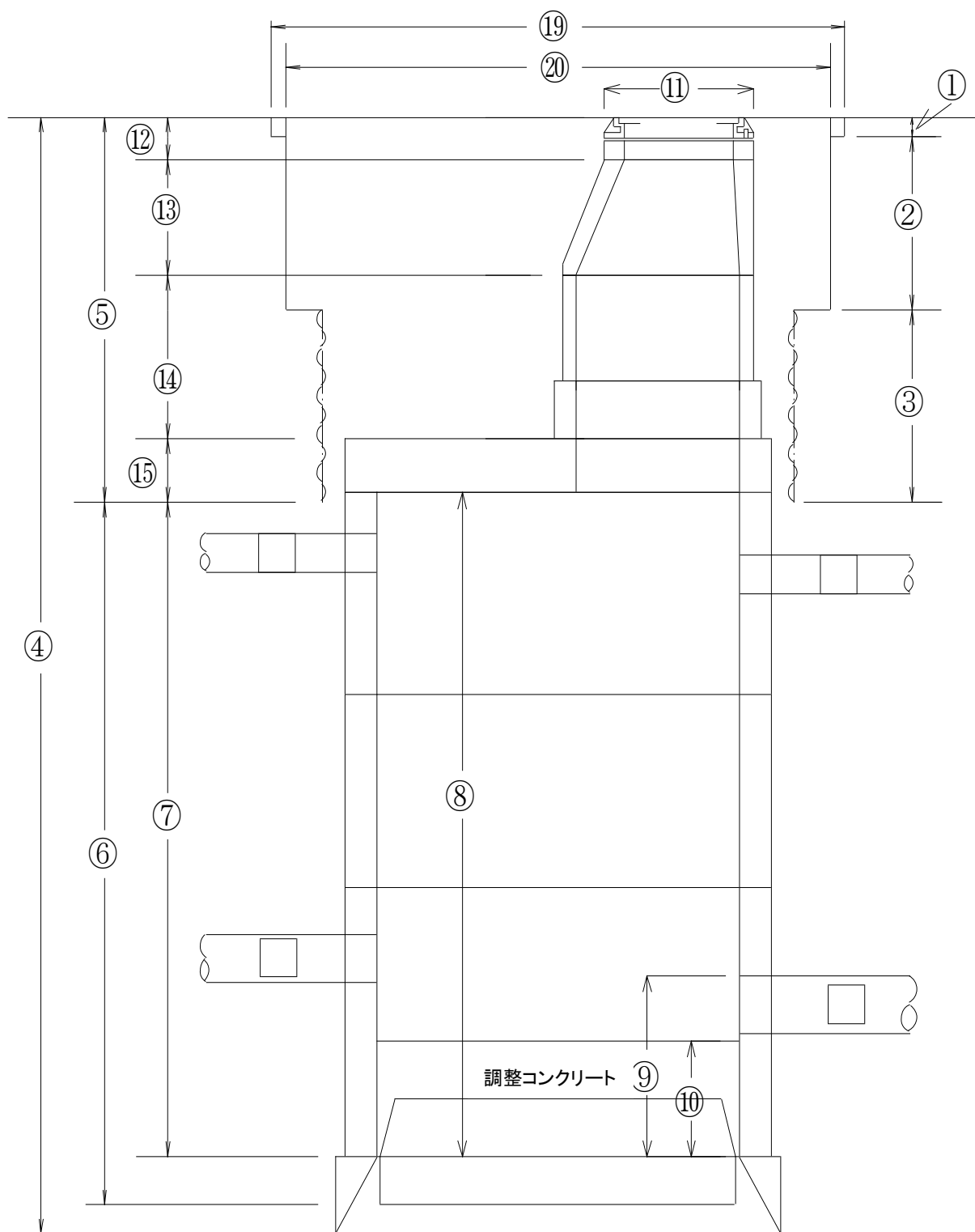
タ ン パ 運 転				内訳書 (号)		C-20-1	
1 日 当 り				単価表 (号)			
No.	種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	特 殊 作 業 員		人	1.0			
	ガ ソ リ ン		ℓ	5.0			
	タ ン パ 賃 料	60～80kg	日	1.61			
	計						

P M P - II 積算標準図 ()

P M P - II

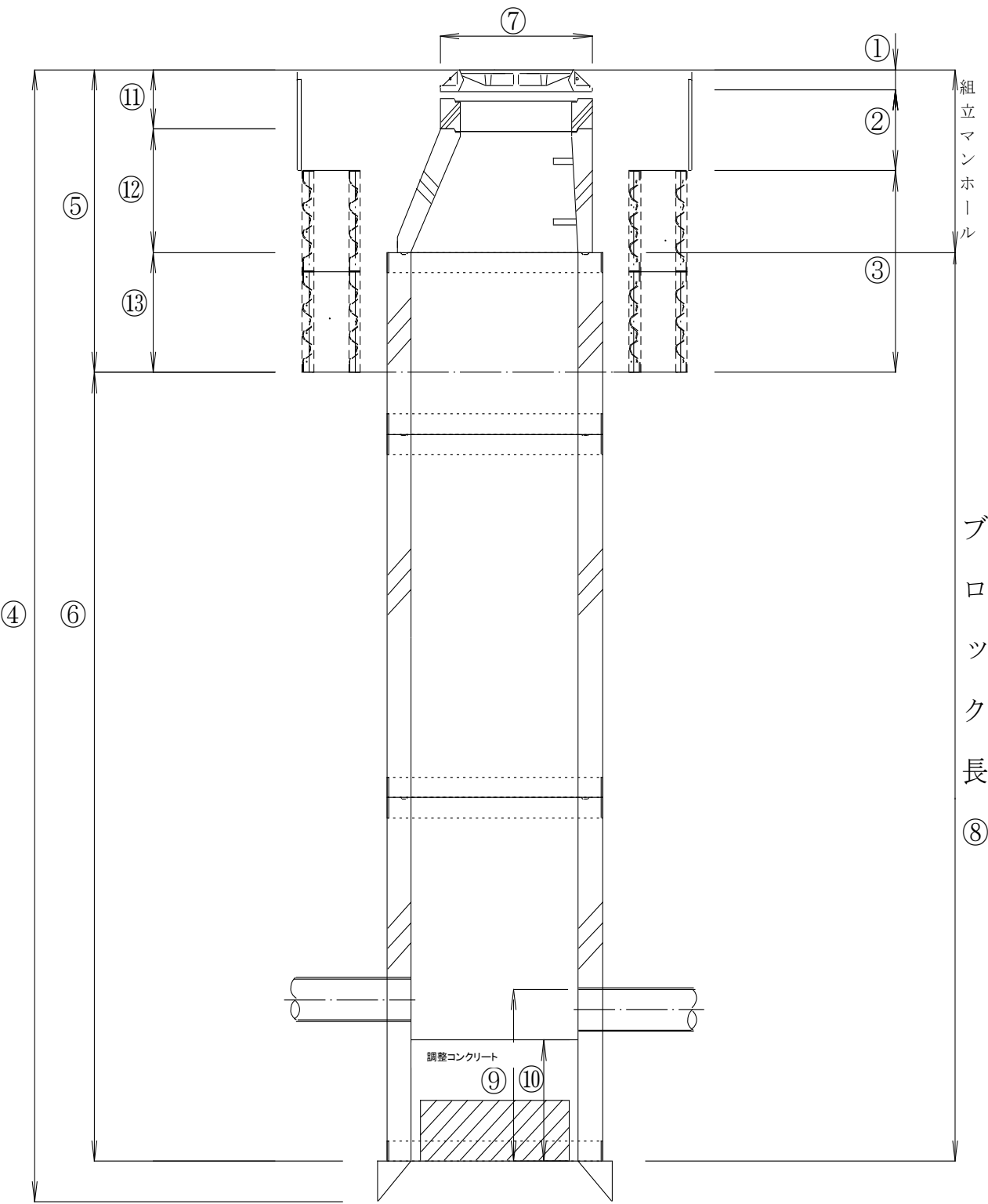
立坑番号 :

()



PMP-Ⅱ 積算標準図 ()

PMP-Ⅱ 立坑番号 : ()



数量計算表

立坑内径 2500 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$4.2 \times 4.2 \times (\text{①})$	$= (\text{(a)}) \text{ m}^2$ C-1
		$4.0 \times 4.0 \times (\text{②})$ (沈設ステージ設置部含む)	$= (\text{(b)}) \text{ m}^3$
		$\pi (3.2/2)^2 \times (\text{③})$	$= (\text{(c)}) \text{ m}^3$
	(d) 掘削量	$(\text{b}) + (\text{c})$	$= (\text{(d)}) \text{ m}^3$
二 次 掘 削 工	(クラムシェル)	$\pi (3.08/2)^2 \times (\text{⑥})$	$= (\text{(e)}) \text{ m}^3$ C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{d}) + (\text{e})$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.48 \text{ m}^3 (1\text{m当り注入量})$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	1 箇所 $\times 0.490 \text{ m}^3$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	N() 箇所 $\times 2.9 \text{ m}$	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-4
目 地 工	ブロック個数	N() 箇所 $\times 7.850 \text{ m}$	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (2.5/2)^2 \times t (\text{⑩}-0.3)$ (コンクリート厚さ)	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (2.5/2)^2 \times t (\text{ })$ (コンクリート厚さ)	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-14
	コンクリート	$\pi (2.5/2)^2$ (コンクリート面積)	$= (\text{ }) \text{ m}^2$
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧)m－流出管天端迄(⑨)m	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧)m－調整コンクリート厚さ(⑩)m	$= (\text{ }) \text{ m}$
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{⑪} / 2)^2$	$= (\text{(f1)}) \text{ m}^2$
舗 装 工	舗装部	破碎面積(a) m^2 －控除面積((f1)) m^2	$= (\text{ }) \text{ m}^2$
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{⑪} / 2)^2 \times (h = \text{⑫}-\text{①})$	$= (\text{(F2)}) \text{ m}^3$
	(F3) 斜壁部	$\ast (2) \times (h = \text{⑬})$	$= (\text{(F3)}) \text{ m}^3$
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径} / 2)^2 \times (h = \text{⑭})$	$= (\text{(F4)}) \text{ m}^3$
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (2.98/2)^2 \times (h = \text{⑮})$	$= (\text{(F5)}) \text{ m}^3$
	(F) 控除計	$(\text{F2}) + (\text{F3}) + (\text{F4}) + (\text{F5})$	$= (\text{(F)}) \text{ m}^3$
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^3 －控除合計((F)) m^3	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-20

※(2)斜壁形状により { i $\pi ((0.82+1.05)/2/2)^2$ ⑥, ⑦ : 小数点以下3桁、その他 : 小数点以下2桁
ii $\pi (\text{斜壁外径} / 2)^2$

数量計算表

立坑内径 2200 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$3.2 \times 3.2 \times (\text{①})$	$= (\text{(a)}) \text{ m}^2$ C-1
		$3.0 \times 3.0 \times (\text{②})$ (沈設ステージ設置部含む)	$= (\text{(b)}) \text{ m}^3$
		$\pi (2.8/2)^2 \times (\text{③})$	$= (\text{(c)}) \text{ m}^3$
	(d) 掘削量	$(\text{b}) + (\text{c})$	$= (\text{(d)}) \text{ m}^3$
二 次 掘 削 工	(クラムシェル)	$\pi (2.68/2)^2 \times (\text{⑥})$	$= (\text{(e)}) \text{ m}^3$ C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{d}) + (\text{e})$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.41 \text{ m}^3 (1\text{m当り注入量})$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	1 箇所 $\times 0.290 \text{ m}^3$	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	N() 箇所 $\times 2.5 \text{ m}$	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-4
目 地 工	ブロック個数	N() 箇所 $\times 6.908 \text{ m}$	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (2.2/2)^2 \times t (\text{⑩}-0.3)$ (コンクリート厚さ)	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (2.2/2)^2 \times t (\text{ })$ (コンクリート厚さ)	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-14
	コンクリート	$\pi (2.2/2)^2$ (コンクリート面積)	$= (\text{ }) \text{ m}^2$
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧)m－流出管天端迄(⑨)m	$= (\text{ }) \text{ m}$ C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧)m－調整コンクリート厚さ(⑩)m	$= (\text{ }) \text{ m}$
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{⑪} / 2)^2$	$= (\text{(f1)}) \text{ m}^2$
舗 装 工	舗装部	破碎面積(a) m^2 －控除面積((f1)) m^2	$= (\text{ }) \text{ m}^2$
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{⑪} / 2)^2 \times (h = \text{⑫}-\text{①})$	$= (\text{(F2)}) \text{ m}^3$
	(F3) 斜壁部	$\ast (2) \times (h = \text{⑬})$	$= (\text{(F3)}) \text{ m}^3$
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径} / 2)^2 \times (h = \text{⑭})$	$= (\text{(F4)}) \text{ m}^3$
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (2.58/2)^2 \times (h = \text{⑮})$	$= (\text{(F5)}) \text{ m}^3$
	(F) 控除計	$(\text{F2}) + (\text{F3}) + (\text{F4}) + (\text{F5})$	$= (\text{(F)}) \text{ m}^3$
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^3 －控除合計((F)) m^3	$= (\text{ }) \text{ m}^3$ C-20

※(2)斜壁形状により { i $\pi ((0.82+1.05)/2/2)^2$ ⑥, ⑦ : 小数点以下3桁、その他 : 小数点以下2桁
ii $\pi (\text{斜壁外径} / 2)^2$

数量計算表

立坑内径 2000 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$3.2 \times 3.2 \times (\text{①}) = (\text{(a)}) \text{ m}^2$	C-1
		$3.0 \times 3.0 \times (\text{②})$ (沈設ステージ設置部含む) $= (\text{(b)}) \text{ m}^2$	
		$\pi (2.6/2)^2 \times (\text{③}) = (\text{(c)}) \text{ m}^2$	
	(d) 掘削量	$(\text{(b)} + \text{(c)}) = (\text{(d)}) \text{ m}^2$	
二 次 掘 削 工	(クラムシエル)	$\pi (2.45/2)^2 \times (\text{⑥}) = (\text{(e)}) \text{ m}^2$	C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{(d)} + \text{(e)}) = () \text{ m}^2$	C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.38 \text{ m}^2 (1\text{m当り注入量}) = () \text{ m}^2$	C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	$1 \text{ 箇所} \times 0.260 \text{ m}^2 = () \text{ m}^2$	C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	$N() \text{ 箇所} \times 2.3 \text{ m} = () \text{ m}$	C-4
目 地 工	ブロック個数	$N() \text{ 箇所} \times 6.280 \text{ m} = () \text{ m}$	C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (2.0/2)^2 \times t (\text{⑩}-0.3)$ (コンクリート厚さ) $= () \text{ m}^2$	C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (2.0/2)^2 \times t ()$ (コンクリート厚さ) $= () \text{ m}^2$	C-14
	コンクリート	$\pi (2.0/2)^2$ (コンクリート面積) $= () \text{ m}^2$	
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧)m－流出管天端迄(⑨)m $= () \text{ m}$	C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧)m－調整コンクリート厚さ(⑩)m $= () \text{ m}$	
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 = (\text{(f1)}) \text{ m}^2$	
舗 装 工	舗装部	破砕面積((a)) m^2 －控除面積((f1)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 \times (\text{h} = \text{⑫}-\text{①}) = (\text{(F2)}) \text{ m}^2$	
	(F3) 斜壁部	$\times (\text{h} = \text{⑬}) = (\text{(F3)}) \text{ m}^2$	
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径} / 2)^2 \times (\text{h} = \text{⑭}) = (\text{(F4)}) \text{ m}^2$	
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (2.35/2)^2 \times (\text{h} = \text{⑮}) = (\text{(F5)}) \text{ m}^2$	
	(F) 控除計	$(\text{(F2)} + \text{(F3)} + \text{(F4)} + \text{(F5)}) = (\text{(F)}) \text{ m}^2$	
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^2 －控除合計((F)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	C-20

※(2)斜壁形状により { i $\pi ((0.82+1.05)/2/2)^2$ ⑥, ⑦ : 小数点以下3桁、その他 : 小数点以下2桁
ii $\pi (\text{斜壁外径} / 2)^2$

数量計算表

立坑内径 1800 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$3.2 \times 3.2 \times (\text{①}) = (\text{(a)}) \text{ m}^2$	C-1
		$3.0 \times 3.0 \times (\text{②})$ (沈設ステージ設置部含む) $= (\text{(b)}) \text{ m}^2$	
		$\pi (2.4/2)^2 \times (\text{③}) = (\text{(c)}) \text{ m}^2$	
	(d) 掘削量	$(\text{(b)} + \text{(c)}) = (\text{(d)}) \text{ m}^2$	
二 次 掘 削 工	(クラムシエル)	$\pi (2.22/2)^2 \times (\text{⑥}) = (\text{(e)}) \text{ m}^2$	C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{(d)} + \text{(e)}) = () \text{ m}^2$	C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.34 \text{ m}^2 (1\text{m当り注入量}) = () \text{ m}^2$	C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	$1 \text{ 箇所} \times 0.160 \text{ m}^2 = () \text{ m}^2$	C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	$N() \text{ 箇所} \times 2.0 \text{ m} = () \text{ m}$	C-4
目 地 工	ブロック個数	$N() \text{ 箇所} \times 5.652 \text{ m} = () \text{ m}$	C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (1.8/2)^2 \times t (\text{⑩}-0.3)$ (コンクリート厚さ) $= () \text{ m}^2$	C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (1.8/2)^2 \times t ()$ (コンクリート厚さ) $= () \text{ m}^2$	C-14
	コンクリート	$\pi (1.8/2)^2$ (コンクリート面積) $= () \text{ m}^2$	
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧)m－流出管天端迄(⑨)m $= () \text{ m}$	C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧)m－調整コンクリート厚さ(⑩)m $= () \text{ m}$	
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 = (\text{(f1)}) \text{ m}^2$	
舗 装 工	舗装部	破砕面積((a)) m^2 －控除面積((f1)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 \times (\text{h} = \text{⑫}-\text{①}) = (\text{(F2)}) \text{ m}^2$	
	(F3) 斜壁部	$\times (\text{h} = \text{⑬}) = (\text{(F3)}) \text{ m}^2$	
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径} / 2)^2 \times (\text{h} = \text{⑭}) = (\text{(F4)}) \text{ m}^2$	
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (2.12/2)^2 \times (\text{h} = \text{⑮}) = (\text{(F5)}) \text{ m}^2$	
	(F) 控除計	$(\text{(F2)} + \text{(F3)} + \text{(F4)} + \text{(F5)}) = (\text{(F)}) \text{ m}^2$	
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^2 －控除合計((F)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	C-20

※(2)斜壁形状により { i $\pi ((0.82+1.05)/2/2)^2$ ⑥, ⑦ : 小数点以下3桁、その他 : 小数点以下2桁
ii $\pi (\text{斜壁外径} / 2)^2$

数量計算表

立坑内径 1500 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$3.2 \times 3.2 \times (\text{①}) = (\text{(a)}) \text{ m}^2$	C-1
		$3.0 \times 3.0 \times (\text{②}) \quad (\text{沈設ステージ設置部含む}) = (\text{(b)}) \text{ m}^2$	
		$\pi (2.0/2)^2 \times (\text{③}) = (\text{(c)}) \text{ m}^2$	
	(d) 掘削量	$(\text{b}) + (\text{c}) = (\text{(d)}) \text{ m}^2$	
二 次 掘 削 工	(クラムシェル)	$\pi (1.88/2)^2 \times (\text{⑥}) = (\text{(e)}) \text{ m}^2$	C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{d}) + (\text{e}) = () \text{ m}^2$	C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.29 (1\text{m当り注入量}) = () \text{ m}^2$	C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	$1 \text{ 箇所} \times 0.130 \text{ m}^2 = () \text{ m}^2$	C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	$N() \text{ 箇所} \times 1.7 \text{ m} = () \text{ m}$	C-4
目 地 工	ブロック個数	$N() \text{ 箇所} \times 4.710 \text{ m} = () \text{ m}$	C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (1.5/2)^2 \times t(\text{⑩}-0.3) \quad (\text{コンクリート厚さ}) = () \text{ m}^2$	C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (1.5/2)^2 \times t() \quad (\text{コンクリート厚さ}) = () \text{ m}^2$	C-14
	コンクリート	$\pi (1.5/2)^2 \quad (\text{コンクリート面積}) = () \text{ m}^2$	
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧) m - 流出管天端迄(⑨) m = () m	C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧) m - 調整コンクリート厚さ(⑩) m = () m	
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 = (\text{(f1)}) \text{ m}^2$	
舗 装 工	舗装部	破砕面積(a) m^2 - 控除面積((f1)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 \times (h = \text{⑫}-\text{①}) = (\text{(F2)}) \text{ m}^3$	
	(F3) 斜壁部	$\times (h = \text{⑬}) = (\text{(F3)}) \text{ m}^3$	
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径}/2)^2 \times (h = \text{⑭}) = (\text{(F4)}) \text{ m}^3$	
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (1.78/2)^2 \times (h = \text{⑮}) = (\text{(F5)}) \text{ m}^3$	
	(F) 控除計	$(\text{F2}) + (\text{F3}) + (\text{F4}) + (\text{F5}) = (\text{(F)}) \text{ m}^3$	
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^2 - 控除合計((F)) $\text{m}^3 = () \text{ m}^3$	C-20

※(2)斜壁形状により $\begin{cases} \text{i } \pi ((0.82+1.05)/2/2)^2 & \text{⑥, ⑦: 小数点以下3桁、その他: 小数点以下2桁} \\ \text{ii } \pi (1.05/2)^2 \end{cases}$

数量計算表

立坑内径 1200 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分(バックホウ)	$2.2 \times 2.2 \times (\text{①}) = (\text{(a)}) \text{ m}^2$	C-1
		$2.0 \times 2.0 \times (\text{②}) \quad (\text{沈設ステージ設置部含む}) = (\text{(b)}) \text{ m}^2$	
		$\pi (1.7/2)^2 \times (\text{③}) = (\text{(c)}) \text{ m}^2$	
	(d) 掘削量	$(\text{b}) + (\text{c}) = (\text{(d)}) \text{ m}^2$	
二 次 掘 削 工	(クラムシェル)	$\pi (1.53/2)^2 \times (\text{⑥}) = (\text{(e)}) \text{ m}^2$	C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{d}) + (\text{e}) = () \text{ m}^2$	C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑦}) \text{ m} \times 0.23 (1\text{m当り注入量}) = () \text{ m}^2$	C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	$1 \text{ 箇所} \times 0.105 \text{ m}^2 = () \text{ m}^2$	C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	$N() \text{ 箇所} \times 1.4 \text{ m} = () \text{ m}$	C-4
目 地 工	ブロック個数	$N() \text{ 箇所} \times 3.768 \text{ m} = () \text{ m}$	C-19
調整コンクリート工	コンクリート	$\pi (1.2/2)^2 \times t(\text{⑩}-0.3) \quad (\text{コンクリート厚さ}) = () \text{ m}^2$	C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (1.2/2)^2 \times t() \quad (\text{コンクリート厚さ}) = () \text{ m}^2$	C-14
	コンクリート	$\pi (1.2/2)^2 \quad (\text{コンクリート面積}) = () \text{ m}^2$	
ス テ ッ プ 取 付 工	発進・到達	ブロック長(⑧) m - 流出管天端迄(⑨) m = () m	C-15
	マンホールポンプ	ブロック長(⑧) m - 調整コンクリート厚さ(⑩) m = () m	
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 = (\text{(f1)}) \text{ m}^2$	
舗 装 工	舗装部	破砕面積(a) m^2 - 控除面積((f1)) $\text{m}^2 = () \text{ m}^2$	
埋 戻 し 量 (控 除)	(F2) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径 } \text{⑪} / 2)^2 \times (h = \text{⑫}-\text{①}) = (\text{(F2)}) \text{ m}^3$	
	(F3) 斜壁部	$\times (h = \text{⑬}) = (\text{(F3)}) \text{ m}^3$	
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径}/2)^2 \times (h = \text{⑭}) = (\text{(F4)}) \text{ m}^3$	
	(F5) 立坑・床版部	$\pi (1.43/2)^2 \times (h = \text{⑮}) = (\text{(F5)}) \text{ m}^3$	
	(F) 控除計	$(\text{F2}) + (\text{F3}) + (\text{F4}) + (\text{F5}) = (\text{(F)}) \text{ m}^3$	
埋 戻 し 工	埋戻し量	掘削量((d)) m^2 - 控除合計((F)) $\text{m}^3 = () \text{ m}^3$	C-20

※(2)斜壁形状により $\begin{cases} \text{i } \pi ((0.82+1.05)/2/2)^2 & \text{⑥, ⑦: 小数点以下3桁、その他: 小数点以下2桁} \\ \text{ii } \pi (1.05/2)^2 \end{cases}$

数量計算表

立坑内径 900 mm

流出管底 mm

沈設深さ mm

立坑No. _____

工 種	内 容	数 量 計 算	摘 要
一 次 掘 削 工	(a) 舗装部分 (バックホウ)	$2.2 \times 2.2 \times (\text{①}) = (\text{(a)}) \text{ m}^2$	C-1
		$\pi (2.0/2)^2 \times (\text{②} + \text{③}) \text{ (沈設ステージ設置部含む)} = (\text{(b)}) \text{ m}^3$	
	(c) 掘削量	$(\text{(b)}) = (\text{(c)}) \text{ m}^3$	
二 次 掘 削 工	(クラムシェル)	$\pi (1.264/2)^2 \times (\text{⑥}) = (\text{(d)}) \text{ m}^3$	C-3
発 生 土 処 分 工		$(\text{(c)} + \text{(d)}) = () \text{ m}^3$	C-10
滑 材 注 入 工	滑材注入	$(\text{⑥}) \text{ m} \times 0.19 \text{ (1m当り注入量)} = () \text{ m}^3$	C-5
底 盤 工	底盤グラウト注入	$1 \text{ 箇所} \times 0.040 \text{ m}^3 = () \text{ m}^3$	C-6
ブロック溶接接続工	溶接箇所	$N() \text{ 箇所} \times 1.1 \text{ m} = () \text{ m}$	C-4
調 整 コ ン ク リ ー ト 工	コンクリート	$\pi (0.9/2)^2 \times t (\text{⑩} - 0.3) \text{ (コンクリート厚さ)} = () \text{ m}^3$	C-18
底 部 工	コンクリート	$\pi (0.9/2)^2 \times t () \text{ (コンクリート厚さ)} = () \text{ m}^3$	C-14
	コンクリート	$\pi (0.9/2)^2 \text{ (コンクリート面積)} = () \text{ m}^2$	
ステップ取付工	発進・到達	$\text{ブロック長} (\text{⑧}) \text{ m} - \text{流出管天端迄} (\text{⑨}) \text{ m} = () \text{ m}$	C-15
	マンホールポンプ	$\text{ブロック長} (\text{⑧}) \text{ m} - \text{調整コンクリート厚さ} (\text{⑩}) \text{ m} = () \text{ m}$	
舗 装 工 (控 除)	(f1) 鉄蓋部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{ ⑦ } / 2)^2 = (\text{(f1)}) \text{ m}^2$	
舗 装 工	舗装部	$\text{破碎面積} (\text{(a)}) \text{ m}^2 - \text{控除面積} (\text{(f1)}) \text{ m}^2 = () \text{ m}^2$	
埋 戻 し 量 (控 除)	(F1) 鉄蓋・調整部	$\pi (\text{鉄蓋外径} \text{ ⑦ } / 2)^2 \times (\text{h} = \text{⑪} - \text{①}) = (\text{(f2)}) \text{ m}^3$	
	(F3) 斜壁部	$\text{※(2)} \times (\text{h} = \text{⑫}) = (\text{(f3)}) \text{ m}^3$	
	(F4) 直壁部	$\pi (\text{直壁外径} / 2)^2 \times (\text{h} =) = (\text{(f4)}) \text{ m}^3$	
	(F4) 立坑部	$\pi (1.164/2)^2 \times (\text{h} = \text{⑬}) = (\text{(f5)}) \text{ m}^3$	
	(F) 控除計	$(\text{(f2)} + \text{(f3)} + \text{(f4)} + \text{(f5)}) = (\text{(F)}) \text{ m}^3$	
埋 戻 し 工	埋戻し工	$\text{掘削量} (\text{(c)}) \text{ m}^3 - \text{控除合計} (\text{(F)}) \text{ m}^3 = () \text{ m}^3$	C-20

※(2) 斜壁形状により {
i $\pi ((0.82+1.05)/2/2)^2$ ⑥：小数点以下3桁、その他：小数点以下2桁
ii $\pi (1.05/2)^2$

IX. 歩掛り及び数量表

表-1 一次掘削量 (m³) (1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
覆工あり	24.02	11.63	11.2	10.81	10.12	4.94	4.56
覆工なし	11.22	7.13	6.70	6.31	5.62	2.94	2.98

表-2 沈設ステージ設置工歩掛

種目 \ 内径	900	1200,1500,1800 2000,2200,2500
土木一般世話役	0.5	0.7
特殊作業員	1.0	1.4
普通作業員	0.5	0.7
トレックレーン賃料	0.5	0.7

表-3 沈設ステージ撤去工歩掛

種目 \ 内径	900	1200,1500,1800 2000,2200,2500
土木一般世話役	0.25	0.5
特殊作業員	0.5	1.0
普通作業員	0.25	0.5
トレックレーン賃料	0.25	0.5

表-4 沈下掘削積み込み工1日当りの配置人員 (M)

土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
1.0	2.0	1.0

表-5 1m当りの標準施工時間 (a)

内径 \ 土質名	砂質土および粘性土			礫質土(礫径200mm以下)	
	N≤10	10<N≤30	30<N≤50	N≤30	30<N≤50
2500	2.4	2.6	3.0	2.9	3.4
2200	2.2	2.4	2.8	2.6	3.2
2000	2.1	2.3	2.6	2.5	3.0
1800	2.0	2.3	2.5	2.4	2.9
1500	1.9	2.0	2.4	2.3	2.8
1200	1.9	2.0	2.3	2.3	2.6
900	1.8	2.3	4.0	5.0	6.0

備考 1.互層の場合は、土質区分別に適用する。
2.適用外土質については別途考慮する。

表-6 クラムシェル運転1時間当りの燃料消費量

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
バケット容量(m³)	0.6	0.4		0.3		0.25	
燃料消費量(l)	17	16		9.8		9.2	

備考 「建設機械等損料表」による。

表-7 クレーン規格

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
	ラフテレーンクレーン 排気ガス対策型(第2次基準型)油圧伸縮ジブ型						※
規格	25吊			16t吊			4.9t吊

※ 4.9t吊はトレックレーン油圧伸縮ジブ型とする。

表-8 ブロック溶接延長 (ブロック接続1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
延長(m)	2.9	2.5	2.3	2.0	1.7	1.4	1.1

表-9 滑材注入量 (1m当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
滑材(m³)	0.48	0.41	0.38	0.34	0.29	0.23	0.19

※ 1m当りの滑材注入量(m³) = $\pi/4 \times (\text{刃口外径})^2 - \pi/4 \times (\text{ブロック外径})^2$

表-10 滑材配合 (1m³当り)

自硬性滑材【製品名】 (kg)	水 (m³)
500	0.55

表-11 底盤グラウト材使用量 (1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
グラウト量(m³)	0.490	0.290	0.260	0.160	0.130	0.105	0.040

表-12 底盤グラウト材配合 (1m³当り)

ベースロック【製品名】 (kg)	水 (m³)
1800	0.45

表-13 スライム処分量

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
スライム処分量(m³)	0.490	0.380	0.310	0.250	0.180	0.110	0.060

※スライム処分量は実勢調査による。

表-14 スライム10m³当りの運転日数

積込機械・規格		汚泥吸排車 吸入管径75mm					
運搬機種・規格		汚泥吸排車3.1～3.5t車					
DID区間 : なし							
運搬距離(km)	2.2以下	4.3以下	7.5以下	12.7以下	24.4以下	41.3以下	60.0以下
運転日数(日)	2.1	2.4	2.7	3.3	4.1	5.1	7
DID区間 : あり							
運搬距離(km)	2.1以下	4.1以下	7.0以下	11.6以下	20.3以下	32.6以下	60.0以下
運転日数(日)	2.1	2.4	2.7	3.3	4.1	5.1	7

備考 1.運搬距離は片道であり、往路と復路が異なったときは平均値とする。
2.自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。
3.DID(人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
4.運搬距離が、60kmを超える場合には別途積み上げとする。

表-15 覆工板設置面積 (1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200
覆工板設置面積(m²)	16	9				4

表-16 H形鋼および溝形鋼使用数量 (1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200・2000・1800・1500	1200
H形鋼形状寸法(mm)	H300×300×4000 5本/箇所	H300×300×3000 2本/箇所	H300×300×2000 2本/箇所
H形鋼数量(t)	1.889	0.587	0.401
溝形鋼形状寸法(mm)	L4160 2本/箇所 L4000 2本/箇所	L3160 2本/箇所 L3000 2本/箇所	L2160 2本/箇所 L2000 2本/箇所
溝形鋼数量(t)	0.401	0.303	0.205

表-17 クレーン規格

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
	ラフテレーンクレーン 排気ガス対策型 (第2次基準型) 油圧伸縮ジブ型		トラッククレーン油圧伸縮ジブ型				
規格	16t吊		4.9t吊				

表-18 コンクリート量 (1箇所当り)

内径(mm)	2500	2200	2000	1800	1500	1200	900
コンクリート量(m³)	1.480	1.140	0.950	0.770	0.530	0.340	0.190

表-19 土量変化率

分類名称			変化率L	変化率C
主要区分		記号		
礫質土	礫	(GW) (GP) (GPs) (G-M) (G-C)	1.20	0.95
	礫質土	(GM) (GC) (GO)	1.20	0.90
砂および砂質土	砂	(SW) (SP) (SPu) (S-M) (S-C) (S-V)	1.20	0.95
	砂質土 (普通土)	(SM) (SC) (SV)	1.20	0.90

L=ほぐした土量(m³)/地山の土量(m³) C=締固め後の土量(m³)/地山の土量(m³)

備考 1.「下水道設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。
2.再生資材を使用する場合については、変化率を別途考慮する。

X. 運転単価表

運転単価表－1 バックホウ運転1時間当り単価表（機－1）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（特 殊）		人	0.16			
燃 料 費	軽油	ℓ	9.2			
機 械 損 料	クレーン装置付 0.45m ³ [平積み0.35m ³]	時間	1.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 バックホウ運転1時間当りの歩掛は、「建設機械等損料表」による。
 運転労務数量＝1/T＝年間標準運転日数/年間標準運転時間
 燃料消費量＝機関出力(kw)×燃料消費率(ℓ/kw・h)

運転単価表－2 バックホウ運転1日当り単価表（機－28）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（特 殊）		人	1.0			
燃 料 費	軽油	ℓ	59			
賃 料	クレーン装置付 0.45m ³ [平積み0.35m ³]	供用日	1.6			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

運転単価表－3 クラムシェル運転1時間当り単価表（機－1）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（特 殊）		人	0.16			
燃 料 費	軽油	ℓ				備考2
機 械 損 料	バケット 容量○m ³	時間	1.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 1.「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。
 2. クラムシェル1時間当りの燃料消費量は、表-6(歩掛及び数量表)を参照する。

運転単価表－4 発動発電機運転1日当り単価表（機－16）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
燃 料 費	軽油	ℓ	22			
賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 25kVA	供用日	1.2			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(推進工法)編」に準ずる。

運転単価表－5 ダンプトラック4t積 1日当り単価表（機－22）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（一 般）		人	1.0			
燃 料 費	軽油	ℓ	34			
機 械 損 料	4t	供用日	1.29			
損 耗 費		供用日	1.29			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 1日当りの燃料消費量は、「建設機械等損料表」による。

運転単価表－6 ダンプトラック2t積 1日当り単価表（機－22）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（一 般）		人	1.0			
燃 料 費	軽油	ℓ	22			
機 械 損 料	2t	供用日	1.29			
損 耗 費		供用日	1.29			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 1日当りの燃料消費量は、「建設機械等損料表」による。

運転単価表－7 クレーン装置付トラック」運転1時間当り単価表（機－1）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（特 殊）		人	0.17			
燃 料 費	軽油	ℓ	5.7			
機 械 損 料	4t級 2.9t吊	時間	1.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(立坑)編」に準ずる。

運転単価表－8 クレーン装置付トラック運転1日当り単価表（機－28）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（特 殊）		人	1.0			
燃 料 費	軽油	ℓ	38			
賃 料	4t級 2.9t吊	供用日	1.23			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 「下水道用設計標準歩掛表 管路施設(開削)編」に準ずる。

運転単価表－9 汚泥吸排車1日当り単価表（機－19）

名 称	規 格	単位	数量	単価	金額	適用
運 転 手（一 般）		人	1.0			
燃 料 費	軽油	ℓ	48			
機 械 損 料	3.1t～3.5t	供用日	1.0			
諸 雑 費		式	1			
計						

備考 汚泥吸排車1日当りの燃料消費量は、「建設機械等損料表」による。

XI. 機械器具損料表

1. 圧入装置損料表

圧入装置	諸元	基礎価格 (千円)	運転1時間当り換算値	
			損料率	損料 (円)
油圧ポンプ 油圧ジャッキ ジャッキホルダ 押角	0.75kW、73MPa 10t×50st×3台 鋼製3セット		0.001968	

注) 圧入装置の運転1日当りの運転時間は6.2時間とする。

2. 沈設ステージ損料表

圧入補助具	諸元	基礎価格 (千円)	1日当り換算値	
			損料率	損料 (円)
沈設ステージ	矩形タイプ 円形タイプ		0.005892	